

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
データリテラシー入門	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ビッグデータ、IoT、AI、ロボット「データリテラシー入門」(1回目) ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会「データリテラシー入門」(1回目) ・人間の知的活動とAIの関係性「データリテラシー入門」(1回目) ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方「データリテラシー入門」(3回目)
	1-6	<ul style="list-style-type: none"> ・AI等を活用した新しいビジネスモデル「データリテラシー入門」(3回目) ・AI最新技術の活用例「データリテラシー入門」(3回目)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	<ul style="list-style-type: none"> ・1次データ、2次データ、メタデータ、アノテーション「データリテラシー入門」(4回目) ・構造化データ、非構造化データ「データリテラシー入門」(4回目) ・オープンデータ「データリテラシー入門」(4回目)
	1-3	<ul style="list-style-type: none"> ・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「データリテラシー入門」(1回目) ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービスなど「データリテラシー入門」(1回目) ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成など「データリテラシー入門」(2回目)

(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	<ul style="list-style-type: none"> ・非構造化データ処理: 言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など「データリテラシー入門」(4回目) ・今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ「データリテラシー入門」(1回目) ・自動化技術「データリテラシー入門」(1回目)
	1-5	<ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンスのサイクル「データリテラシー入門」(5回目) ・流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介「データリテラシー入門」(1回目、2回目)
(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	<ul style="list-style-type: none"> ・ELSI、データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「データリテラシー入門」(6回目) ・AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)「データリテラシー入門」(6回目) ・データバイアス、アルゴリズムバイアス「データリテラシー入門」(6回目) ・AIサービスの責任論「データリテラシー入門」(6回目) ・データ・AI活用における負の事例紹介「データリテラシー入門」(6回目) ・個人情報保護、EU法(保護規則)と忘れられる権利、オプトアウト「データリテラシー入門」(7回目)
	3-2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ: 機密性、完全性、可用性「データリテラシー入門」(8回目) ・匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取「データリテラシー入門」(8回目) ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「データリテラシー入門」(8回目)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> ・データの種類「データリテラシー入門」(10回目) ・母集団と標本抽出「データリテラシー入門」(10回目) ・観測データに含まれる誤差の扱い、打ち切りや脱落を含むデータ「データリテラシー入門」(10回目) ・統計情報の正しい理解「データリテラシー入門」(13回目) ・データの分布と代表値、データのばらつき「データリテラシー入門」(14回目) ・層別の必要なデータ「データリテラシー入門」(14回目) ・相関と因果、クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列「データリテラシー入門」(15回目)
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> ・データ表現「データリテラシー入門」(13回目) ・データの図表表現「データリテラシー入門」(13回目) ・不適切なグラフ表現「データリテラシー入門」(13回目) ・優れた可視化事例の紹介「データリテラシー入門」(13回目) ・データの比較「データリテラシー入門」(15回目)
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> ・データ解析ツール「データリテラシー入門」(11回目) ・表形式のデータ「データリテラシー入門」(11回目) ・データの集計(和)「データリテラシー入門」(12回目) ・データの並び替え、ランキング「データリテラシー入門」(12回目) ・データの集計(平均)「データリテラシー入門」(13回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

来るデータ駆動型社会に向けて進展が期待されているDSとAIに関する基礎的な知識と技能を修得できる。具体的には、以下の通り。
 [1] DSやAIの現状、概念、方法、および、データの取り扱いや留意点について基本事項を知っている。
 [2] データの収集、計算、操作、分析を行うツールの初歩的な操作ができる。

大学等名 近畿大学

プログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度 令和4 年度

②履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学定員	収容定員	令和4年度						令和3年度						令和2年度						令和元年度						平成30年度						平成29年度						履修者数合計	履修率
				履修者数			修了者数			履修者数			修了者数			履修者数			修了者数			履修者数			修了者数			履修者数			修了者数										
				合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性								
法学部	2,070	500	2,000	140			82			0			0			0			0			0			0			0			140	7%									
経済学部	3,180	760	3,040	84			43			0			0			0			0			0			0			0			84	3%									
経営学部	5,901	1,340	5,360	224			121			0			0			0			0			0			0			0			224	4%									
理工学部	4,664	1,040	4,430	246			156			0			0			0			0			0			0			0			246	6%									
建築学部	1,198	280	1,120	7			3			0			0			0			0			0			0			0			7	1%									
薬学部	1,110	190	1,060	52			28			0			0			0			0			0			0			0			52	5%									
文芸学部	2,182	515	2,060	20			11			0			0			0			0			0			0			0			20	1%									
総合社会学部	2,085	510	2,040	37			16			0			0			0			0			0			0			0			37	2%									
国際学部	2,098	500	2,000	0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0%									
情報学部	360	330	330	315			232			0			0			0			0			0			0			0			315	95%									
短期大学部	190	80	160	6			0			0			0			0			0			0			0			0			6	4%									
農学部	2,780	680	2,720	226			169			0			0			0			0			0			0			0			226	8%									
医学部	704	112	676	15			4			0			0			0			0			0			0			0			15	2%									
生物理工学部	1,927	485	1,940	260			147			0			0			0			0			0			0			0			260	13%									
工学部	2,177	545	2,180	110			56			0			0			0			0			0			0			0			110	5%									
産業理工学部	1,720	420	1,680	15			8			0			0			0			0			0			0			0			15	1%									
通信教育部（法学部）	1,443	2,000	8,000	0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	0%									
通信教育部（短期大学部）	1,780	2,000	4,000	4			3			0			0			0			0			0			0			0			4	0%									
合計	37,569	12,287	44,796	1,761	0	0	1,079	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,761	4%									

大学等名 近畿大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数 (常勤) 2,268 人 (非常勤) 3,578 人

② プログラムの授業を教えている教員数 3※ 人

※全回オンデマンド授業であり、動画コンテンツで授業を担当している教員数

③ プログラムの運営責任者
 (責任者名) 仲林 真子 (役職名) 副学長補佐・全学共通教育機構長

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)
近畿大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム委員会
 (責任者名) 仲林 真子 (役職名) 副学長補佐・全学共通教育機構長

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称
近畿大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム委員会規程

⑥ 体制の目的
データ駆動型社会における素養となるDSとAIに関する基礎的な知識と技能を備えた人材を育成することを目的に設置。本部会では、この目的を達成するために、主として当該教育プログラムを改善・進化させる活動を行う。

⑦ 具体的な構成員

 部会長(副学長・全学共通教育機構長) 仲林真子
 委員(自己点検・評価委員会委員長) 渥美寿雄
 委員(情報学部 准教授) 溝渕昭二
 委員(経済学部 教授) 山内康弘
 委員(農学部 教授) 田茂井政宏

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和4年度実績	3.9%	令和5年度予定	8.5%	令和6年度予定	13.5%
令和7年度予定	19.0%	令和8年度予定	21.0%	収容定員(名)	44,796

具体的な計画

プログラム履修を促進するため、令和4年度から各学部で実施されるオリエンテーションでの周知徹底や学生ポータルサイトでの周知等を積極的に行っている。今後は必修化も視野に入れて計画予定としているが、通信教育部生に対する必修化の課題や、履修率の算出方法が、「収容定員に対する履修者」となることから、全学年に開講となる令和7年度までは、履修率の大幅な向上は見込めないため、上記のパーセンテージとなっている。

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

本教育プログラムの科目は、全学生が受講できる共通教養科目として開講しているので、所属に関係なく希望する学生が受講可能となっている。また、教材はすべてデジタル化してLMSで管理し、授業はオンデマンドで提供している。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

入学後のガイダンスや、本学の学修ポータルサイトにて周知を行うことで、学生が情報を受け取りやすい環境を整備している。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

本教育プログラムの科目は、共通教養科目として設定し、オンデマンド受講を全学生に可能にするシステムを構築している。このため、本学の全学生がオンデマンド科目として履修・受講できるようになっている。またオンデマンドの特性上、本教育プログラムの科目の授業は、履修期間中であれば、インターネットに接続できる環境からいつでも受講できる状況となっている。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

本教育プログラムの科目が提供する教材については、履修期間中であれば、LMSを通じていつでも利用できるのもので、受講生は不明点等を必要なタイミングで確認できる。また、受講生は、履修期間中であれば、本学が導入しているチャットツールを通じていつでも質問が可能となっている。さらにチャットツールだけではなくZoomでの質問対応時間も設けている。

大学等名 近畿大学

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

自己点検・評価委員会専門部会(数理・データサイエンス・AI 教育プログラムリテラシーレベル)

(責任者名) 仲林 真子

(役職名) 副学長補佐・全学共通教育機構長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	本教育プログラムの科目は共通教養に位置付けたオンデマンド科目であるため、使用しているLMSから授業動画の視聴時間やリピート再生の情報を抽出することで、学生の学修履歴が可視化できるようになっている。また、本教育プログラムの科目については、共通教養の担当所管のみならず、各学部においても自学部の履修状況を確認できるようになっている。
学修成果	本教育プログラムの科目では、ほぼすべての授業回において理解度を確認するテストや課題を実施している。その結果を集約し、懸案事項を関係者で協議の上、教材作成担当者が対応している。さらに学期末に実施している授業評価アンケートからも学生の授業内容の理解度を把握することができるため、本科目の授業内容の改善に活用している。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	本教育プログラム受講生対象に実施したアンケートでは、「(1)この授業を受けることで、自分の知識や考えが深まりましたか。」の質問に対し、82.5%の学生が「非常にそう思う」、「そう思う」と回答、「(2)この授業を受けて、シラバスにある学習到達目標に到達できたと思いますか。」の質問に対し、73.3%の学生が「非常にそう思う」、「そう思う」と回答していることから理解度は高いと考えられる。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	本教育プログラム受講者全員に対して行っている授業評価アンケートは、現状授業改善の用途に限って利用しており、後輩学生や他の学生への推奨を促す用途には利用していない。授業評価アンケートを本用途に利用することについては、今後質問項目を追加予定である。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本教育プログラムを構成する科目「データリテラシー入門」については、令和4年度から全学生が受講可能な共通教養科目として開講している。現在は選択科目であるが、数年以内に必修科目とすることも視野に入れ、履修者数と履修率の向上に向けた検討を行っている。 また本教育プログラムの履修については、担当の事務職員および教材作成担当教員にて打合せを実施し、履修向上につながるような施策を検討している。
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	本教育プログラムは令和4年度から開始したため、社会人となった本教育プログラムの修了者はまだ輩出されていない。該当者が生じた際は、その進路、活躍状況、進路先での評価を継続的に測定していく計画である。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	本学外部評価委員である株式会社ベネッセホールディングス常務執行役員・株式会社ベネッセコーポレーション取締役 大学・社会人カンパニー カンパニー長の山崎昌樹様に本教育プログラムについて意見を求めた結果次の回答を得た。 文部科学省のモデルカリキュラムに準拠した内容、かつ近畿大学の特色も反映されている内容となっており、文部科学省が求めるレベルは達成されていると感じている。そのうえで、今後の検討課題として、次の3点が挙げられる。 ①所属学部による受講者の偏りを正す必要がある。 ②高校の情報教育との連携を視野に入れる必要がある。 ③学部のカリキュラムにデータサイエンス教育を組み込む必要がある。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	モデルカリキュラム・リテラシーレベルのコア学習項目に取り上げられているキーワードの説明を中心とした講義内容としている。講義については、教示内容を自身で深めるための時間を設けており、受講生が主体的に取り組むための要素を取り入れている。また、授業で学んだ概念間の関係を可視化するアプリケーションや、データを操作分析するための表計算ソフトなどを取り入れて、授業で学んだ内容をすぐに実践できる場を設けている。さらに、授業期間中に2回、受講生を対象としたグループディスカッションを学部の垣根を越えて実施し、自身の理解を他者と共有できる場を設けている。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	本教育プログラムでは、授業評価アンケートを実施し、学生の意見を反映させることで授業の質の向上に努めている。例えば令和4年度に実施した授業評価アンケートでは、「授業で使用するシステムが多く煩雑である」という記述がみられたため、動画教材に補足説明のスライドを追加した。このようにアンケートから得られた意見や課題を参考にして、見直しを図っている。

シラバス登録（内容印刷）

科目名	データリテラシー入門【KICSオンデマンド科目】
シラバスNO	22Z1101614
担当教員	溝渕 昭二
開講年次	単位 2単位
開講期	
分野	
科目区分	共通教養科目
必修選択の別	
英文科目名	Introduction to Data Literacy
備考	
授業概要・方法等	本科目では、データ駆動型社会に向けて進展が期待されているDS（Data Science, データ科学）とAI（Artificial Intelligence, 人工知能）に関する基礎的な知識と技能を身につけるための授業を実施する。授業では、DSやAIに関する現状を認識した後、それらを活用するために最低限理解しておくべき概念や方法を学習する。また、それらを安全かつ適正に利用するために必要とされる留意事項についても学習する。授業はコンテンツ作成者が作成したコンテンツを用い、担当教員が授業を実施する。各回の作成者は授業計画の内容に記載する。
授業形態	メディア授業（全授業回）
アクティブ・ラーニングの形態	該当なし
ICTを活用したアクティブ・ラーニング	該当なし
使用言語	日本語
学習・教育目標及び到達目標	[1] DSやAIに関する現状を理解している。 [2] DSやAIに関する基本的な概念や方法を理解している。 [3] データの正しい利用方法について理解している。 [4] スプレッドシートの基本的な機能を使ってデータを操作することができる。
成績評価方法および基準	課題（第1回、第3回-第8回） 30% 課題+テスト（第9回） 20% 課題（第11回-第15回） 40% グループディスカッション（第2回、第10回、授業時間外） 10%
試験・課題に対するフィードバック方法	模範答案を掲載します。
教科書	教科書はなし。適宜授業資料を配布する。
参考文献	[ISBN]9784065238097 『教養としてのデータサイエンス（データサイエンス入門シリーズ）』（北川 源四郎, 講談社：2021）
関連科目	各学部のデータサイエンスあるいはAIを取り扱った科目
授業評価アンケート実施方法	学部の定める通り、実施します。
研究室・メールアドレス	nttls_21@kindai.ac.jp
オフィスアワー	溝渕 火曜日昼休み 越智 水曜日5時限目 山元 火曜日5時限目
授業計画の内容及び時間外学習の内容・時間	第1回 データ駆動型社会（担当：山元 翔） ・IoT、ビッグデータ、AI、ロボット、仮想現実（VR）、拡張現実（AR） ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会 ・現代社会におけるデータ科学（DS）と人工知能（AI）への期待と課題 ・人間の知的活動とAIの関係性 予習内容：授業計画を確認すること（30分） 復習内容：授業中に終わらなかった課題に取り組むこと（120分） 第2回 DS・AI活用社会（担当：山元 翔） ・データ・AIの活用領域 ・データ・AI利活用の現場 予習内容：第2回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること（120分） 復習内容：第2回の授業内容に関係するグループディスカッションに参加すること（120分） 第3回 DS・AI利活用（担当：山元 翔） ・データ・AI利活用の最新動向 ・人工知能、データ科学のビジネス機会 ・人工知能、データ科学の社会的課題 ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方 予習内容：第3回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること（120分） 復習内容：授業中に終わらなかった課題に取り組むこと（120分） 第4回 様々なデータ表現（担当：山元 翔） ・2進数、16進数 ・数値、文字、画像、音声 ・社会で活用されているデータ ・1次データ、2次データ、メタデータ、アノテーション ・構造化データ、非構造化データ ・オープンデータ 予習内容：第4回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること（120分） 復習内容：授業中に終わらなかった課題に取り組むこと（120分） 第5回 データの利活用と注意（担当：山元 翔） ・データ・AI利活用のための技術 ・データサイエンスのサイクル ・個人の不健全な状況の回避：ネット依存症、ゲーム中毒、テクノストレス等 ・被害者・加害者にならないための知識、なったときの対応、誹謗中傷・炎上、ネットいじめ ・適切な対象が適切に情報を取得できること：情報格差、アクセシビリティ ・プライバシー 予習内容：第5回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること（120分） 復習内容：授業中に終わらなかった課題に取り組むこと（120分）

第6回 社会におけるデータの取り扱い - 個々人の注意 - (担当: 山元 翔)

- ・情報の信頼性の判断、デマ・流言、メディアリテラシー
- ・社会としての危機管理: システムダウンによる影響範囲の把握と対応
- ・ELSI (Ethical, Legal and Social Issues)
- ・データ・AI活用における負の事例紹介
- ・データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護
- ・AI社会原則 (公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断)
- ・データバイアス、アルゴリズムバイアス
- ・AIサービスの責任論

予習内容: 第6回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること (120分)

復習内容: 授業中に終わらなかった課題に取り組むこと (120分)

第7回 社会におけるデータの取り扱い - 社会全体の注意 - (担当: 山元 翔)

- ・知的財産権: 著作権と産業財産権、著作権、創作とライセンス表示、国際化 (ベルヌ条約)
- ・肖像権・パブリシティ権
- ・個人情報保護: 個人情報 (個人識別符号の説明を含む)、匿名加工情報、自己情報コントロール権、OECD プライバシーガイドライン、EU 法 (保護規則) と忘れられる権利、オプトアウト

予習内容: 第7回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること (120分)

復習内容: 授業中に終わらなかった課題に取り組むこと (120分)

第8回 データを守る上での留意事項 (担当: 山元 翔)

- ・情報セキュリティ: 機密性、完全性、可用性
- ・匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取
- ・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介

予習内容: 第8回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること (120分)

復習内容: 授業中に終わらなかった課題に取り組むこと (120分)

第9回 AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題) (担当: 山元 翔)

これまでの内容を踏まえて、今後DSの考え方に基づきAIを利活用する上での基礎知識が身についたかを確認するテストを実施する

予習内容: 第1回から第8までの授業内容を確認しておくこと (210分)

復習内容: 理解が不十分だった学習項目について確認しておくこと (120分)

第10回 データを集める (担当: 溝渕 昭二)

- ・データの種類 (量的変数、質的変数)
- ・母集団と標本抽出 (国勢調査、アンケート調査、全数調査、単純無作為抽出、層別抽出、多段抽出)
- ・観測データに含まれる誤差の扱い
- ・打ち切りや脱落を含むデータ

予習内容: 第10回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること (120分)

復習内容: 第10回の授業内容に関するグループディスカッションに参加すること (120分)

第11回 データを扱う (担当: 溝渕 昭二)

- ・データ解析ツール (スプレッドシート)
- ・表形式のデータ (CSV)

予習内容: 第11回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること (120分)

復習内容: 授業中に終わらなかった課題に取り組むこと (120分)

第12回 データを操る (担当: 溝渕 昭二)

- ・データの集計 (和)
- ・データの並び替え、ランキング

予習内容: 第12回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること (120分)

復習内容: 授業中に終わらなかった課題に取り組むこと (120分)

第13回 データを見る (担当: 溝渕 昭二)

- ・データ表現 (棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ)
- ・データの図表表現 (チャート化)
- ・不適切なグラフ表現 (チャートジャンク、不必要な視覚的要素)
- ・統計情報の正しい理解 (誇張表現に惑わされない)
- ・優れた可視化事例の紹介 (可視化することによって新たな気づきがあった事例など)

予習内容: 第13回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること (120分)

復習内容: 授業中に終わらなかった課題に取り組むこと (120分)

第14回 データを読む (担当: 溝渕 昭二)

- ・データの分布 (ヒストグラム)
- ・層別の必要なデータ
- ・代表値 (平均値、中央値、最頻値)
- ・代表値の性質の違い (実社会では平均値=最頻値でないことが多い)
- ・データのばらつき (分散、標準偏差、偏差値)
- ・データの集計 (平均)

予習内容: 第14回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること (120分)

復習内容: 授業中に終わらなかった課題に取り組むこと (120分)

第15回 データを読み解く (担当: 溝渕 昭二)

- ・相関と因果 (相関係数、擬似相関、交絡)
- ・クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
- ・データの比較 (条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト)

予習内容: 第15回の詳細に記載しているキーワードについて確認すること (120分)

復習内容: 授業中に終わらなかった課題に取り組むこと (120分)

ホームページ

実践的な教育内容

該当なし

1. 全学共通科目

(1) 科目表

(ア) 共通教養科目

科目群	科目名	配当学年	開講期 (セメスター)	単位数	単位数
課題設定・問題解決科目群	基礎ゼミ (*)	1年	前期 (1)	2	4 単位以上
	情報処理実習 (*)				
	日本語の技法	1~4年	前期 (1) または後期 (2)		
	生命の科学				
	環境科学				
	思考の技術				
	基礎数学				
	科学技術の発展と現代社会				
	データリテラシー入門	2~4年	前期 (3) または後期 (4)		
	教養特殊講義 C				
	キャリア・デザイン 1	1年	後期 (2)		
	キャリア・デザイン Math1	1~4年	前期 (1)		
キャリア・デザイン Math2	後期 (2)				
地域性・国際性科目群	地域と環境の地理学	1~4年	前期 (1) または後期 (2)	2	2 単位以上
	日本近現代史				
	世界近現代史				
	国際化と異文化理解				
	教養特殊講義 B	2~4年	前期 (3) または後期 (4)		
人間性・社会性科目群	人権と社会 1	1~4年	前期 (1) または後期 (2)	2	4 単位以上
	人権と社会 2		後期 (2)		
	現代社会と倫理		前期 (1) または後期 (2)		
	心理と行動				
	現代の社会論				
	芸術鑑賞入門				
	哲学と人間・社会				
	住みよい社会と福祉				
	現代経済の課題				
	マスメディアの基本構造				
	教養特殊講義 A	2~4年			
自校学習	1年	前期 (1) および後期 (2)		1	
スポーツ・表現活動科目群	生涯スポーツ 1	1~4年	前期 (1)	1	
	生涯スポーツ 2		後期 (2)		
専門基礎科目群	法学入門	1~4年	前期 (1)	2	

*「基礎ゼミ」および「情報処理実習」は必修科目です。卒業するためには、必ず単位を取得しなければなりません。

【共通教養科目の卒業要件単位数】

- ①「課題設定・問題解決科目群」から 4 単位以上取得
- ②「地域性・国際性科目群」から 2 単位以上取得
- ③「人間性・社会性科目群」「スポーツ・表現活動科目群」「専門基礎科目群」から 4 単位以上取得
- ④共通教養科目全体で 16 単位以上取得 (= 上記①②③以外の残る 6 単位はいずれの科目群からでも取得可)
- ⑤共通教養科目について、メディア授業の授業形態で修得した単位数のうち、卒業要件を満たす単位数として算定できるのは、8 単位が上限

Ⅲ. 教養教育科目（共通教養科目・外国語科目）の履修

1. 共通教養科目の単位数と配当学年

科目群	授業科目	単位数	配当学年	
人間性・社会性科目群	人権と社会 1	2	1	
	人権と社会 2	2	1	
	暮らしのなかの憲法	2	1	
	現代社会と倫理	2	1	
	現代の社会論	2	1	
	芸術鑑賞入門	2	1	
	哲学と人間・社会	2	1	
	現代社会と法	2	1	
	現代社会と政治	2	1	
	現代社会と人間	2	1	
	教養特殊講義 A	2	1	
	地域性・国際性科目群	地域と環境の地理学	2	1
		国際化と異文化理解	2	1
日本近現代史		2	1	
世界近現代史		2	1	
現代世界と民族・宗教		2	1	
教養特殊講義 B		2	1	
課題設定・問題解決科目群	★基礎ゼミ（必修）	2	1	
	日本語の技法	2	1	
	生命の科学	2	1	
	環境科学	2	1	
	基礎数学	2	1	
	キャリアデザイン	2	1	
	教養特殊講義 C	2	1	
	データリテラシー入門	2	1	
スポーツ・表現活動科目群	生涯スポーツ 1	1	1	
	生涯スポーツ 2	1	1	
	食生活と健康	2	1	
	心と体の健康	2	1	

★：卒業するために単位を修得していることが必要な科目である。

授業形態

共通教養科目は前期または後期週 1 回の授業である。

2. 共通教養科目の履修方法

共通教養科目の履修については、Ⅱの 2 の [キャップ制（履修登録制限）] とⅡの 3 の進級・卒業の要件に示した規定に加え、以下の細則を設ける。

- ① 履修登録はクラス制を採用することがある。
- ② 共通教養科目のうち、基礎ゼミ（必修）は 1 学年前期の指定されたクラスで必ず履修登録をし、単位修得しなければならない。また、基礎ゼミ（必修）の不合格者は 1 学年後期に再履修クラスを受講し、単位修得しなければならない。なお、基礎ゼミの単位修得には 4 分の 3 以上の出席が必要である。
- ③ 共通教養科目については、基礎ゼミを含め各科目群からそれぞれ 1 単位以上修得しなければならない。

Ⅲ カリキュラムの構成と履修方法の概要

1. カリキュラムの構成

経営学部の各学科及び各コースの定めるカリキュラムは、共通教養科目、外国語科目、専門科目、自由科目の4つから構成され、その内訳は以下の通りである。

[1] 共通教養科目（全学科・コース共通）

群	授 業 科 目
人間性・社会性 科 目 群	基礎ゼミ（必修） 人権と社会1 人権と社会2 暮らしのなかの憲法 心理と行動 現代の社会論 芸術鑑賞入門 哲学と人間・社会 現代社会と倫理 現代社会と法 現代社会と政治 自校学習 教養特殊講義A
課題設定・問題解決 科 目 群	情報処理基礎（必修） データリテラシー入門 キャリアデザイン 日本語の技法 生命の科学 環境科学 思考の技術 経営・経済のための数学 ビジネス実務講座 教養特殊講義 教養特殊講義C
スポーツ・表現活動 科 目 群	生涯スポーツ1 生涯スポーツ2 健康とスポーツの科学
地域性・国際性 科 目 群	地域と環境の地理学 国際化と異文化理解 日本近現代史 世界近現代史 日本文化論 教養特殊講義B

4. 各学科の科目表・進級基準・卒業要件

4-1 学部共通 (共通教養科目) 科目表

[] : いずれかのセメスターで開講される。
 () : いずれかのセメスターで受講できる。

授業科目		単位数	履修学年、期別、セメスター																		履修状況				
			1学年		2学年		3学年		1学年		2学年		3学年		1学年		2学年		3学年						
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6					
		理学科数学コース						理学科物理学コース						理学科化学コース											
人間性・社会性科目群	自校学習	1	○						○							○									
	人権と社会1	2	(○)	(○)					(○)	(○)						(○)	(○)								
	人権と社会2	2		○						○							○								
	暮らしのなかの憲法	2	○						○							○									
	住みよい社会と福祉	2	○						○							○									
	現代社会と法	2	○							○							○								
	環境と社会	2			[○]	[○]					[○]	[○]						[○]	[○]						
	資源とエネルギー	2			[○]	[○]					[○]	[○]						[○]	[○]						
	技術と倫理	2	[○]	[○]						○							○								
	企業倫理と知的財産	2															○							○	
教養特殊講義A	2	[○]	[○]						[○]	[○]						[○]	[○]								
地域性・国際性科目群	国際経済と企業の国際化	2			[○]	[○]					[○]	[○]						[○]	[○]						
	国際化と異文化理解	2	○						○							○									
	国際社会と日本	2	○						○							○									
	ビジネスモデルとマネジメント	2		○					○							○									
	メディアの読み方	2					○						○									○			
	教養特殊講義B	2	[○]	[○]					[○]	[○]						[○]	[○]								
課題設定・問題解決科目群	日本語の技法	2		○						○						○									
	基礎ゼミ1	2	◎						◎							◎									
	基礎ゼミ2	2		◎						◎							◎								
	キャリアデザイン	2					○							○								○			
	科学的問題解決法	2					[○]	[○]						[○]	[○]							[○]	[○]		
	プレゼンテーション技術	2						○							○								○		
	情報処理基礎	1	◎						◎							◎									
	教養特殊講義C	2	[○]	[○]					[○]	[○]						[○]	[○]								
	データリテラシー入門	2	[○]	[○]					[○]	[○]						[○]	[○]								
スポーツ・表現活動科目群	生涯スポーツ1	1	○						○							○									
	生涯スポーツ2	1		○						○							○								
	健康とスポーツの科学	2	○						○							○									
	食生活と健康	2		○						○							○								
備考			◎: 必修科目 ○: 選択科目						◎: 必修科目 ○: 選択科目						◎: 必修科目 ○: 選択科目										

VI. 建築学部教育科目表

〔共通教養科目〕科目表

◎は必修科目、○印は選択科目を示す。

授 業 科 目	単 位 数	必修、 選択の 別	履修学年、期別、セメスターと1週当たりの授業時間数								備 考	履 修 状 況	
			1学年		2学年		3学年		4学年				
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
			1	2	3	4	5	6	7	8			
人間性・ 社会性科目群	教養特殊講義A	2	○	[2]	[2]								
	現代社会と法	2	○	[2]	[2]								
	環境と社会	2	○		2								
	技術と倫理	2	○		2								
	自校学習	1	○			2							
	人権と社会1	2	○			2							
	住みよい社会と福祉	2	○			2							
	人権と社会2	2	○				2						
	暮らしのなかの憲法	2	○			[2]	[2]						
	資源とエネルギー	2	○				2						
企業倫理と知的財産	2	○						2					
国際地域性 科目群	国際化と異文化理解	2	○	[2]	[2]								
	ビジネスモデルとマネジメント	2	○	[2]	[2]								
	教養特殊講義B	2	○	[2]	[2]								
	国際社会と日本	2	○	[2]	[2]								
	国際経済と企業の国際化	2	○		2								
	メディアの読み方	2	○					2					
問題課題 設定科目群	基礎ゼミ1	2	◎	2									
	基礎ゼミ2	2	◎		2								
	教養特殊講義C	2	○	[2]	[2]								
	日本語の技法	2	○	[2]	[2]								
	データリテラシー入門	2	○	[2]	[2]								
	キャリアデザイン	2	○					[2]	[2]				
	プレゼンテーション技術	2	○						2				
スポーツ・ 表現活動 科目群	健康とスポーツの科学	2	○	[2]	[2]								
	生涯スポーツ1	1	○	2									
	生涯スポーツ2	1	○		2								

注 1. 表中の授業時間数欄に記載されている2は1週に1時限(90分)を表す。
 2. []はいずれかのセメスターで開講される。

薬学部・医療薬学科 カリキュラムマップ(令和4年度以降入学生)

DP1 関心・意欲・態度

- 1) 医療に関する高い倫理観と責任感を有し、薬剤師の資質を活かして社会および地域に貢献すべきであるという使命感を持ち続けること。
- 2) 患者の立場を理解し、患者本位の医療の発展に寄与する意欲を生涯にわたって持ち続けること。

DP2 思考・判断

- 1) 生命の尊さを認識し、医療における様々な問題について倫理的な判断ができること。
- 2) 医療専門職としての役割を理解し、合意に基づいて自主的、かつ協調的に行動できること。

DP3 技能・表現

- 1) 多職種連携を実践できるコミュニケーション能力を身につけること。
- 2) 高度で多様化する薬物療法に関する基本的技能を修得し、医療の実践で応用できる能力を身につけること。
- 3) 薬学分野における基本的な研究技術を有し、薬学・医療の発展に応用できる課題発見・問題解決能力を身につけること。

DP4 知識・理解

- 1) 医療や人の健康に関わる者として必要とされる広い教養と、グローバル化に対応した言語力、自然科学に関する知識を身につけること。
- 2) 医療に関する様々な問題を理解するために、医療薬学分野の幅広い専門知識を身につけること。

区分	科目コード	科目名	単位数	選択・必修	開講期	ディプロマポリシーに対する関与の程度(◎:密接に関与する、○:関与する)																	
						DP1-1	DP1-2	DP2-1	DP2-2	DP3-1	DP3-2	DP3-3	DP4-1	DP4-2									
共通 教養 科目	人間性・社会性科目群	111 人権と社会 1	2	選択	1前	◎																	
		112 人権と社会 2	2	選択	1後	◎																	
		111 暮らしのなかの憲法	2	選択	1後		○														○		
		111 現代社会と倫理	2	選択	1前		○		◎														
		111 心理と行動	2	選択	1後			○	◎														
		111 現代経済の課題	2	選択	1前																	○	
		111 自校学習	2	選択	1後		○	○															
		121 住みよい社会と福祉	2	選択	2後		○		◎														
		111 教養特殊講義A	2	選択	1通																	○	
		111 生活環境科学	2	選択	1前				○													◎	
	地域性・国際性科目群	111 国際化と異文化理解	2	選択	1後						◎											◎	
		111 教養特殊講義B	2	選択	1前		○																
		課題設定・問題解決科目群	111 基礎ゼミ	2	必修	1前					○												
			111 基礎数学	2	選択	1前							○										◎
			111 情報科学入門	2	選択	1前																	◎
			112 データリテラシー入門	2	選択	1後																	◎
			111 物理学概論	2	選択	1前																	◎
			121 日本語の技法	2	選択	2後					◎												○
			111 教養特殊講義C	2	選択	1通		○															○
			学部基礎科目	111 生涯スポーツ1	1	1	選択	1前						○									
112 生涯スポーツ2	1			1	選択	1後						○										○	
111 基礎化学	2			必修	1前																	◎	
111 基礎生物学	2	必修		1前					○												◎		
外国語科目	英語	111 英語演習 1	2	必修	1前						◎										○		
		112 英語演習 2	2	必修	1後						◎											○	
		121 英語演習 3	1	必修	2前						◎											○	
		122 英語演習 4	1	必修	2後						◎											○	
		111 オーラルイングリッシュ1	1	選択	1前						○											◎	
		112 オーラルイングリッシュ2	1	選択	1後						○											◎	
		121 オーラルイングリッシュ3	1	選択	2前						○											◎	
		122 オーラルイングリッシュ4	1	選択	2後						○											◎	
		121 T O E I C 1	1	1	選択	2前					○												◎
		122 T O E I C 2	1	1	選択	2後					○												◎
		121 T O E F L 1	1	1	選択	2前					○												◎
		122 T O E F L 2	1	1	選択	2後					○												◎
		121 ライティング 1	1	1	選択	2前					○												◎
		122 ライティング 2	1	1	選択	2後					○												◎
		初級 外国語 科目	111 ドイツ語総合 1	1	1	選択	1前					○											◎
			112 ドイツ語総合 2	1	1	選択	1後					○											
	121 ドイツ語総合 3		1	1	選択	2前					○												◎
	122 ドイツ語総合 4		1	1	選択	2後					○												◎
	121 ドイツ語コミュニケーション1		1	1	選択	2前					○												◎
	122 ドイツ語コミュニケーション2		1	1	選択	2後					○												◎
	131 ドイツ語コミュニケーション3		1	1	選択	3~4					○												◎
	132 ドイツ語コミュニケーション4		1	1	選択	3~4					○												◎
	111 フランス語総合 1		1	1	選択	1前					○												◎
	112 フランス語総合 2		1	1	選択	1後					○												◎
	121 フランス語総合 3		1	1	選択	2前					○												◎
	122 フランス語総合 4		1	1	選択	2後					○												◎
	121 フランス語コミュニケーション1		1	1	選択	2前					○												◎
	122 フランス語コミュニケーション2		1	1	選択	2後					○												◎
	131 フランス語コミュニケーション3		1	1	選択	3~4					○												◎
	132 フランス語コミュニケーション4		1	1	選択	3~4					○												◎
	中国語 科目	111 中国語総合 1	1	1	選択	1前					○											◎	
		112 中国語総合 2	1	1	選択	1後					○												◎
121 中国語総合 3		1	1	選択	2前					○												◎	
122 中国語総合 4		1	1	選択	2後					○												◎	
121 中国語コミュニケーション1		1	1	選択	2前					○												◎	
122 中国語コミュニケーション2		1	1	選択	2後					○												◎	
131 中国語コミュニケーション3		1	1	選択	3~4					○												◎	
132 中国語コミュニケーション4		1	1	選択	3~4					○												◎	
専門科目1群 化学系		211 基礎有機化学	2	2	選択必修	1前																◎	
		211 有機化学	1	2	選択必修	1後																	◎
	211 分析化学	1	2	選択必修	1後										○						◎		
	211 薬用資源学	2	2	選択必修	1後																	◎	
	211 基礎物理化学	2	2	選択必修	1後																	◎	
	222 物理化学	2	2	選択必修	2前										○							◎	
	222 有機化学	2	2	選択必修	2前																	◎	
	222 分析化学	2	2	選択必修	2前															○		◎	
	221 生物有機化学	2	2	選択必修	2後																	◎	
	223 分析化学	3	2	選択必修	2後																	◎	

共通教養科目・第一外国語（英語）・第二外国語
卒業・履修要件と授業科目表

卒業要件

授 業 科 目	修得すべき単位数	
共 通 教 養 科 目		20 単位以上（「基礎ゼミ」、「コンピュータ実習 1」を含む）
第一外国語（英語）	10 単位以上（必修 8 単位を含む）*	外国語科目 あわせて 14 単位以上 （文学科英語英米文学専攻は第二外国語 4 単位以上）
第 二 外 国 語		

共通教養科目、第一外国語（英語）、第二外国語 卒業所要単位数合計	34 単位以上 （文学科英語英米文学専攻は 24 単位以上）
-------------------------------------	-----------------------------------

注意点

* 第一外国語（英語）については、英語英米文学専攻は修得不要です。

共通教養科目

#印はキャップ制除外科目

区分	授 業 科 目	配当学年	単位数	修得すべき単位数	
共 通 教 養 科 目	人間性・社会性科目群	人権と社会 1	1	2	2 単位以上 (自校学習除く)
		人権と社会 2	1	2	
		暮らしのなかの憲法	1	2	
		現代社会と倫理	1	2	
心理と行動		1	2		
現代の社会論		1	2		
哲学と人間・社会		1	2		
住みよい社会と福祉		1	2		
自校学習		1	2 [#]		
教養特殊講義 A		1	2		
国 際 性 ・ 地 域 性 ・ 社 会 性 科 目 群	地域と環境の地理学	1	2	2 単位以上	
	国際経済入門	1	2		
	国際社会と日本	1	2		
	国際化と異文化理解	1	2		
	日本文学論	1	2		
	教養特殊講義 B	1	2		
課 題 設 定 ・ 問 題 解 決 科 目 群	基礎ゼミ	1	2 (必修)	4 単位以上	
	生命の科学	1	2		
	思考の技術	1	2		
	キャリアデザイン 1	2	2		
	キャリアデザイン 2	3	2		
	科学・技術と社会	1	2		
	数的リテラシー基礎 1	2	2 [#]		
	数的リテラシー基礎 2	3	2 [#]		
	コンピュータ実習 1	1	2 (必修)		
	コンピュータ実習 2	1	2		
	データリテラシー入門	1	2		
	教養特殊講義 C	1	2		
表 現 活 動 科 目 群	生涯スポーツ 1	1	1	2 単位以上	
	生涯スポーツ 2	1	1		
	日本語の表現	1	2		
	心と体の健康	1	2		
	身体論	1	2		
	芸術と表現	1	2		

あわせて
20 単位以上
（「基礎ゼミ」、「コンピュータ実習 1」を含む）

*カリキュラム表

※必修と記載のないものは選択科目

科目区分	授業科目の名称	単位数	配当学年	種類	
共通教養科目	人間性・社会性科目群	いのちの尊厳	2	1	
		ボランティア論	2	1	
		ボランティア実習	2	1	
		人権と社会1	2	1	
		人権と社会2	2	1	
		暮らしのなかの憲法	2	1	
		住みよい社会と福祉	2	1	
		芸術鑑賞入門	2	1	
		教養特殊講義A	2	2	
	地域性・国際性科目群	国際化と異文化理解	2	1	
		ことばと文化	2	1	
		国際社会と日本	2	1	
		世界の貧困と格差	2	1	
		グローバル化と経済	2	1	
		地域と環境の地理学	2	1	
		時事教養	2	2	
	教養特殊講義B	2	2		
	課題設定・問題解決科目群	基礎ゼミ	2	1	必修
		日本語の技法	2	1	
		思考の技術	2	1	
データリテラシー入門		2	1		
情報処理		2	1	必修	
基礎数学		2	1		
キャリアデザインⅠ		2	1		
キャリアデザインⅡ		2	2		
教養特殊講義C		2	2		
スポーツ・表現活動科目群	生涯スポーツ1	1	1		
	生涯スポーツ2	1	1		
	健康とスポーツの科学	2	1		
	食生活と健康	2	1		
学部基礎科目群	日本史概論1	2	2		
	日本史概論2	2	2		
	外国史概論1	2	1		
	外国史概論2	2	1		
	地誌学概論1	2	1		
	地誌学概論2	2	1		
	社会学概論	2	1		
	政治学概論	2	1		
	国際政治学概論	2	1		
	法学概論	2	1		
	倫理学概論	2	1		
	哲学概論	2	1		

第一外国語	基幹科目	英語演習1	2	1	必修	
		英語演習2	2	1	必修	
		英語演習3	1	2		
		英語演習4	1	2		
		オーラルイングリッシュ1	1	1	必修	
		オーラルイングリッシュ2	1	1	必修	
		オーラルイングリッシュ3	1	2		
		オーラルイングリッシュ4	1	2		
	英語	発展科目	英語演習5	1	3	
			英語演習6	1	3	
			イングリッシュスペシャルスタディーズ1	1	2	
			イングリッシュスペシャルスタディーズ2	1	2	
			イングリッシュスペシャルスタディーズ3	1	3	
			イングリッシュスペシャルスタディーズ4	1	3	
			資格英語1	1	2	
			資格英語2	1	2	
			資格英語3	1	3	
			資格英語4	1	3	
			アカデミックイングリッシュスキルズ1	1	1	
			アカデミックイングリッシュスキルズ2	1	1	
アカデミックイングリッシュスキルズ3	1	2				
アカデミックイングリッシュスキルズ4	1	2				
アカデミックイングリッシュスキルズ5	1	3				
アカデミックイングリッシュスキルズ6	1	3				
海外語学研修(英語)	1	1				

VI 授業科目と履修方法

1. 全学共通科目（共通教養科目・外国語科目）：卒業・履修要件と授業科目表

卒業・履修要件：共通教養科目および外国語科目

科目区分			修得すべき単位数	
全学共通科目	共通教養科目	人間性・社会性科目群	* スポーツ・表現活動科目群と合わせて、4単位以上	
		地域性・国際性科目群	2単位以上	
		課題設定・問題解決科目群	4単位以上 * 必修科目「基礎ゼミ」と「ICTリタラシー1」を含む	
		スポーツ・表現活動科目群	* 人間性・社会性科目群と合わせて、4単位以上	
	外国語科目			
			26単位以上	

授業科目表：共通教養科目

科目区分		授業科目の名称	単位数	配当学年	
全学共通科目	共通教養科目	人間性・社会性科目群	暮らしのなかの憲法	2	1
			哲学と人間・社会	2	1
			現代社会と倫理	2	1
			人権と社会 1	2	1
			人権と社会 2	2	2
			心理と行動	2	2
			現代の社会論	2	2
			芸術鑑賞入門	2	2
			住みよい社会と福祉	2	2
			現代社会と法	2	2
			現代社会と政治	2	2
			現代経済の課題	2	2
			教養特殊講義 A	2	1
			地域性・国際性科目群	日本近現代史	2
		世界近現代史		2	1
地域と環境の地理学	2	1			
国際文化研究 1	2	2			
国際文化研究 2	2	2			
教養特殊講義 B	2	1			
課題設定・問題解決科目群	基礎ゼミ（必修科目）	2	1		
	ICTリタラシー 1（必修科目）	2	1		
	日本語の技法	2	1		
	キャリアデザイン 1	2	2		
	キャリアデザイン 2	2	3		
	ICTリタラシー 2	2	2		
	生命の科学	2	2		
	環境科学	2	2		
	思考の技術	2	1		
	基礎数学 1	2	3		
	基礎数学 2	2	3		
	教養特殊講義 C	2	1		
データリテラシー入門	2	1			
スポーツ・表現活動科目群	生涯スポーツ 1	1	1		
	生涯スポーツ 2	1	2		
	健康とスポーツの科学	2	2		

4. 科目表・進級基準・卒業要件

学部共通（共通教養科目）科目表

◎：必修科目、○：選択科目

授 業 科 目	単位数	必修、選択 の別	履修学年、期別、セメスターと1週当たりの授業時間数								備考	履修 状況	
			1 学年		2 学年		3 学年		4 学年				
			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
			1	2	3	4	5	6	7	8			
人間性・ 社会性科目群	自校学習	1	○	2									
	科学技術の進歩と人権	2	○		2								
	暮らしのなかの憲法	2	○		2								
	心理と行動	2	○				2						
	住みよい社会と福祉	2	○		2								
	現代社会と法	2	○	2									
	環境と社会	2	○	2									
	資源とエネルギー	2	○			2							
	技術と倫理	2	◎		2								
	企業倫理と知的財産	2	○						2				
教養特殊講義 A	2	○	[2]	[2]									
地域性・ 国際性科目群	国際経済と企業の国際化	2	○	2									
	国際社会と日本	2	○	2									
	ビジネスモデルとマネジメント	2	○		2								
	メディアの読み方	2	○					2					
	教養特殊講義 B	2	○	[2]	[2]								
課題設定・ 問題解決科目群	日本語の技法	2	○	2									
	基礎ゼミ 1	2	◎	2									
	基礎ゼミ 2	2	◎		2								
	科学的問題解決法	2	○					2					
	プレゼンテーション技術	2	○						2				
	教養特殊講義 C	2	○	[2]	[2]								
	データリテラシー入門	2	○	[2]	[2]								
スポーツ・ 表現科目群	生涯スポーツ 1	1	○	2									
	生涯スポーツ 2	1	○		2								

注1. 表中の授業時間数欄に記載されている「2」は1時限（90分）を表す。

2. [] はいずれかのセメスターで開講される。

学 部 共 通 (共通教養科目・外国語科目) 科目一覧表

区分	授業科目	単位	配当 学年	備 考			
				必修の別等	GPA対象外科目	《履修方法》	
共通 教養 科目	【人間性・社会性科目群】						1. 共通教養科目から14単位以上、専門基礎科目から4単位以上、共通教養科目および専門基礎科目から2単位以上の合計20単位以上を修得しなければならない。 2. 【人間性・社会性科目群】から4単位以上(食品栄養学科は2単位以上)、【地域性・国際性科目群】から2単位以上、【課題設定・問題解決科目群】から4単位以上を修得しなければならない。 3. 共通教養科目および専門基礎科目を合わせて20単位を超えて修得しても卒業要件の単位として認められない。
	人 権 と 社 会 1	2	1				
	人 権 と 社 会 2	2	1	「人権と社会1」を履修のこと。			
	暮らしのなかの憲法	2	1				
	住みよい社会と福祉	2	1				
	現代社会と法	2	1				
	環境と倫理	2	2		GPA対象外科目		
	生命と倫理	2	2				
	ボランティア実習	1	1	「住みよい社会と福祉」を履修のこと。	GPA対象外科目		
	自 校 学 習	1	1		GPA対象外科目		
	教養特殊講義 A	2	2				
	【地域性・国際性科目群】						
	国 際 経 済 入 門	2	1				
	国際化と異文化理解	2	1				
	農 学 と 社 会	2	1				
	地球環境と気象	2	1		GPA対象外科目		
	教養特殊講義 B	2	2				
	【課題設定・問題解決科目群】						
	基 礎 ゼ ミ	2	1	必修			
	日 本 語 の 技 法	2	1				
	科学的問題解決法	2	1				
	統計と考え方	2	1				
	情 報 基 礎	2	1	必修			
	情 報 処 理	2	2				
	データリテラシー入門	2	1				
	キャリアデザイン	2	1				
	キャリアデベロップメント	2	1	「インターンシップ」は「キャリアデザイン」「キャリアデベロップメント」を修得しなければ、履修できない。			
インターンシップ	2	2		GPA対象外科目			
進 路 と 職 業	1	1		GPA対象外科目			
社会で役立つ文章表現法	1	3		GPA対象外科目			
教養特殊講義 C	2	2					
【スポーツ・表現活動科目群】							
生 涯 ス ポ ー ツ 1	1	1					
生 涯 ス ポ ー ツ 2	1	1					
数 学	2	1					
環 境 教 育 学	2	1					
世 界 の 食 糧 生 産	2	1					
里 山 学	2	1		GPA対象外科目			
自 然 色 彩 学	2	1					
生 態 学 基 礎	2	1					
食 生 活 と 健 康	2	1					
基 礎 土 壌 学	2	1					

2023年度 開講科目および授業年次配分表

◎:必修 □:選択必修 △:選択

区分	授業科目	授業時間数・単位	配当学年														
			1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年				
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後					
共通教養科目	医学からみた現代社会と倫理	2	◎														
	グローバルヘルス概論	2	◎														
	数理科学	2	◎														
	医療イノベーション学	2	◎														
	人権と社会	2	◎														
	生死論	2	□														
	教養特殊講義	2	□														
	ホスピタルアートによる患者ケア	2	□														
	暮らしのなかの起業入門	2	△														
	心理と行動	2		◎													
	環境と社会	2		◎													
	データリテラシー入門	2		△													
外国語科目	医学英語Ⅰ	4		◎													
	医学英語Ⅱ	2			◎												
	医学英語Ⅱ	2				◎											
	医学英語Ⅲ	2					◎										
学部基礎科目	生命科学	(60)	◎														
	医用化学	(60)	◎														
	医物理学	(60)	◎														
	科学的思考演習	(30)	◎														
	細胞・形態学	(90)		◎													
	医学概論	(30)	◎														
	医統計学	(30)	◎														
	地域包括ケア実習／総合医学	(60)			◎												
	プロフェッショナリズム／実習Ⅰ	(45)		◎													
	プロフェッショナリズム／実習Ⅱ	(60)				◎											
	プロフェッショナリズム／実習Ⅲ	(30)					◎										
	プロフェッショナリズム／実習Ⅳ	(30)						◎									
	医薬連携総論	(30)						◎									

生物工学科 カリキュラム体系図

DP1 関心・意欲・態度
DP2 思考・判断
DP3 技能・表現
DP4 知識・理解

必修
選択

DP：ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

	セメスター							
	1年		2年		3年		4年	
	1	2	3	4	5	6	7	8
共通教養科目群	里山の環境学 現代社会と倫理 教養特殊講義A 教養特殊講義B 教養特殊講義C 国際経済入門 日本近現代史 生涯スポーツ1 新しい政治学 健康とスポーツの科学 現代社会と法 日本語の技法 国際化と異文化コミュニケーション 基礎ゼミ 人権と社会1	里山の環境学 科学技術と人間・社会 食生活と健康 現代経済の課題 国際社会と日本 キャリアデザイン 生涯スポーツ2 持続可能な社会論 データリテラシー入門 暮らしのなかの憲法 芸術鑑賞入門 思考の技術 国際化と異文化コミュニケーション 人権と社会2 自己発見の心理学 言語文化学入門	社会奉仕実習	インターンシップ キャリアインターンシップ	スクールインターンシップ			
外国語科目群	総合英語1 オールラスキル(英語)1 海外研修(英語)	総合英語2 オールラスキル(英語)2	理系英語1 オールラスキル(英語)3 言語演習(英語)1 TOEIC・A1 英語スキル上級A	理系英語2 オールラスキル(英語)4 言語演習(英語)2 TOEIC・A2	理系英語3(エッセンシャル) 理系英語3(コフリベンション) 理系英語3(プレゼンテーション) 発展理系英語1 TOEIC・B1	理系英語4(エッセンシャル) 理系英語4(コフリベンション) 理系英語4(プレゼンテーション) 発展理系英語2 TOEIC・B2 英語スキル上級B		
学部基礎科目群	情報処理基礎Ⅰ 化学実験 物理学実験 バイオテクノロジー技術論 科学倫理 生物と地球環境 医療・科学・暮らし 地学概論Ⅰ 地学実験 代数学概論Ⅰ 幾何学ⅠA	情報処理基礎Ⅱ Webデザイン 地学概論Ⅱ 代数学概論Ⅱ 幾何学ⅠB	基礎食品化学 幾何学ⅡA	幾何学ⅡB			知的財産権	
学科基礎科目群	化学Ⅰ 基礎数学 数学 生物学Ⅰ 物理学Ⅰ	化学Ⅱ 微積分学 線形代数学 生物学Ⅱ 物理学Ⅱ						
学科基礎科目群	トピックスインバイオロジー 有機化学基礎 公衆衛生学	基礎遺伝学 生化学Ⅰ 細胞生物学Ⅰ 基礎植物学	生化学Ⅱ 分子生物学Ⅰ 植物生理学 基礎微生物学 細胞生物学Ⅱ 疫学論	細胞生物学Ⅲ 分子生物学Ⅱ 生物物理化学	酵素化学 生物機能物質化学 ゲノム機能科学 遺伝子発現制御学 免疫・アレルギー学			
手法	計量生物学			生物分析化学 遺伝子工学	植物細胞工学 機器分析化学	バイオインフォマティクス		
生物資源利用		資源植物学	植物育種学 植物生産工学Ⅰ	応用微生物学 植物生産工学Ⅱ		植物栽培環境学		
生物プロセス				生体情報工学 バイオリアクター工学 食品企業経営論	環境システム工学 環境科学	生物プロセス工学		
実験・演習		生物工学基礎化学実験	生物工学基礎生物学実験	生物工学基礎生化学実験 専門ゼミ	専攻科目演習Ⅰ	専攻科目演習Ⅱ	専攻科目演習Ⅲ 生物工学発展	専攻科目演習Ⅳ 卒業研究

遺伝子工学科 カリキュラム体系図

DP1 関心・意欲・態度
DP2 思考・判断
DP3 技能・表現
DP4 知識・理解

必修
選択

DP：ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

		セメスター									
		1年		2年		3年		4年			
		1	2	3	4	5	6	7	8		
全学科共通	共通教養科目群	人権と社会1 教養特殊講義A 教養特殊講義B 教養特殊講義C	人権と社会2 暮らしのなかの憲法 現代経済の課題 持続可能な社会論 自己発見の心理学	現代社会と法 現代社会と倫理 新しい政治学 国際化と異文化コミュニケーション 日本語の技法 基礎ゼミ 生涯スポーツ1 健康とスポーツの科学	芸術鑑賞入門 国際社会と日本 言語文化学入門 国際化と異文化コミュニケーション 思考の技術 キャリアデザイン 生涯スポーツ2 データリテラシー入門	社会奉仕実習	インターンシップ キャリアインターンシップ スクールインターンシップ				
	外国語科目群	総合英語1 オーラルスキル(英語)1 海外研修(英語)	総合英語2 オーラルスキル(英語)2	理系英語1 オーラルスキル(英語)3 言語演習(英語)1 TOEIC・A1 英語スキル上級A	理系英語2 オーラルスキル(英語)4 言語演習(英語)2 TOEIC・A2	理系英語3(エッセンシャル) 理系英語3(コリアンハンジョン) 理系英語3(プレゼンテーション) 発展理系英語1 TOEIC・B1	理系英語4(エッセンシャル) 理系英語4(コリアンハンジョン) 理系英語4(プレゼンテーション) 発展理系英語2 TOEIC・B2 英語スキル上級B	ドイツ語総合1 中国語総合1	ドイツ語総合2 中国語総合2	ドイツ語総合3 中国語総合3	ドイツ語総合4 中国語総合4
	学部基礎科目群	化学実験 物理学実験 科学倫理 情報処理基礎I バイオテクノロジー技術論 生物と地球環境 医療・科学・暮らし 地学概論I 地学実験 代数学概論I 幾何学IA	Webデザイン 情報倫理 情報処理基礎II 地学概論II 代数学概論II 幾何学IB	基礎食品化学 幾何学IIA	幾何学IIB	知的財産権					
	学科基礎科目群	生命科学概論 生物学I 物理学I 化学I 細胞生物学I 動物生理学	化学II 生物学II 物理学II 微積分学 線形代数学 統計学 細胞生物学II 分子生物学I 生体構成分子	微生物学 生化学I 分子生物学II	生化学II 生物物理化学						
専門科目群	生命と情報科目群	動物学		進化遺伝学		遺伝子機能解析学 生命科学のための情報リテラシー 生命科学のための分析化学	生命倫理 タンパク質機能学 遺伝子発現制御とエピジェネティクス				
	高次生命科目群		発生生物学I	発生生物学II 動物繁殖学	免疫学概論 神経科学	分子発生学					
	応用生命工学科目群	遺伝子工学概論	発生工学 公衆衛生学	遺伝子工学	実験動物学	幹細胞・再生医学 医用遺伝子工学概論 生殖医療工学					
	実験・実習・演習科目群			遺伝子基礎化学実験	遺伝子工学実験	生殖工学実験	専門ゼミ 専攻科目演習I	専攻科目演習II 専攻科目演習III	卒業研究		

食品安全工学科 カリキュラム体系図

DP1 関心・意欲・態度
DP2 思考・判断
DP3 技能・表現
DP4 知識・理解
必修 選択

DP：ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

		セメスター											
		1年		2年		3年		4年					
		1	2	3	4	5	6	7	8				
共通教養科目群	教養特殊講義A 教養特殊講義B 教養特殊講義C	基礎ゼミ 健康とスポーツの科学 国際経済入門 日本近現代史 国際化と異文化コミュニケーション 里山の環境学 日本語の技法		思考の技術 食生活と健康 国際社会と日本 言語文化学入門 国際化と異文化コミュニケーション 里山の環境学 芸術鑑賞入門 現代経済の課題 持続可能な社会論 データリテラシー入門		生涯スポーツ1 人権と社会1 現代社会と法 現代社会と倫理 新しい政治学		生涯スポーツ2 人権と社会2 暮らしのなかの憲法 自己発見の心理学 キャリアデザイン 科学技術と人間・社会		社会奉仕実習		インターンシップ キャリアインターンシップ スクールインターンシップ	
	外国語科目群	総合英語1 オーラルスキル(英語)1 海外研修(英語)		総合英語2 オーラルスキル(英語)2		理系英語1 オーラルスキル(英語)3 言語演習(英語)1 TOEIC・A1 英語スキル上級A		理系英語2 オーラルスキル(英語)4 言語演習(英語)2 TOEIC・A2		理系英語3(エッセンシャル) 理系英語3(コプリヘンション) 理系英語3(プレゼンテーション) 発展理系英語1 TOEIC・B1		理系英語4(エッセンシャル) 理系英語4(コプリヘンション) 理系英語4(プレゼンテーション) 発展理系英語2 TOEIC・B2 英語スキル上級B	
学部基礎科目群	生物と地球環境 医療・科学・暮らし 地学概論I 地学実験 代数学概論I 幾何学IA		地学概論II 代数学概論II 幾何学IB		基礎食品化学 幾何学IIA 幾何学IIB		知的財産権		情報処理基礎I 物理学実験 バイオテクノロジー技術論 科学倫理		情報処理基礎II Webデザイン 情報倫理		
専門科目群	学科基礎科目	化学I 生物学I		化学II 生物学II		基礎数学 数学 物理学I 生命科学概論		微積分学 線形代数学 物理学II					
	食品機能工学	生化学I 生体物質基礎 食品材料学		生化学II 分子生物学I		食品機能学 食品機能統計学		機能性食品開発					
	食生産環境			植物育種学 世界の食生産事情 植物生産工学I		応用微生物工学 動物生産学		食品システム論 食生産環境工学 食品工業技術論		疫学論		食品企業経営論 遺伝資源学	
	食品管理評価	食品安全工学概論		食品保全学		食品安全学 食品微生物学 食品分析化学		食品加工学 食品衛生管理学		HACCPシステム論			
	応用生命工学	動物栄養学		細胞生物学I		細胞生物学II		分子生物学II 免疫・アレルギー学 酵素化学		実験動物学 細胞培養工学		公衆衛生学 バイオインフォマティクス	
実験・実習・演習			食品化学実験 専門ゼミ		食品生物学実験		専攻科目演習I 専攻科目演習II		専攻科目演習III 専攻科目演習IV		卒業研究		

生命情報工学科 カリキュラム体系図

DP1 関心・意欲・態度	DP2 思考・判断	DP3 技能・表現	DP4 知識・理解
必修	選択		

DP：ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

	セメスター							
	1年		2年		3年		4年	
	1	2	3	4	5	6	7	8
共通教養科目群	健康とスポーツの科学 生涯スポーツ1	キャリアデザイン 科学技術と人間・社会 生涯スポーツ2 食生活と健康	社会奉仕実習		インターンシップ キャリアインターンシップ スクールインターンシップ			
外国語科目群	総合英語1 オーラルスキル(英語)1 海外研修(英語)	総合英語2 オーラルスキル(英語)2	理系英語1 オーラルスキル(英語)3 言語演習(英語)1 TOEIC・A1 英語スキル上級A	理系英語2 オーラルスキル(英語)4 言語演習(英語)2 TOEIC・A2	理系英語3(エッセイナル) 理系英語3(コアリベリオン) 理系英語3(アプレッテンション) 発展理系英語1 TOEIC・B1	理系英語4(エッセイナル) 理系英語4(コアリベリオン) 理系英語4(アプレッテンション) 発展理系英語2 TOEIC・B2 英語スキル上級B		
	ドイツ語総合1 中国語総合1	ドイツ語総合2 中国語総合2	ドイツ語総合3 中国語総合3	ドイツ語総合4 中国語総合4				
学部基礎科目群	科学倫理 情報処理基礎I 物理学実験 化学実験 バイオテクノロジー技術論 生物と地球環境 医療・科学・暮らし 地学実験 地学概論I 代数学概論I 幾何学IA	情報倫理 情報処理基礎II Webデザイン 地学概論II 代数学概論II 幾何学IB	基礎食品化学 幾何学IIA	幾何学IIB		知的財産権		
学科基礎科目群	生命情報工学総論 化学I 生物学I 数学 基礎数学 物理学I コンピュータ概論	化学II 生物学II 微分積分学 線形代数学 物理学II 情報ネットワーク 電気回路I	情報基礎 確率基礎 情報基礎 電気回路II 応用数学I	生物統計 電子回路 応用数学II		生体とシステム制御 生体分子の統計物理		知的財産権法概論
生命情報科目群			プログラミング 数値計算 細胞生物学	データ構造とアルゴリズム 分子生物学I	データベース論 情報セキュリティ 分子生物学II	バイオマテリアル バイオセンサー	情報理論 バイオインフォマティクス	
生体システム科目群			脳・神経生理学 デジタル回路	生体・電子計測学 生体情報工学 情報通信工学	生体信号解析	システム工学 画像処理 機械学習	脳と情報科学	
先端			生命情報工学講義I	生命情報工学講義II				
実験・実習・演習科目群		プログラミング基礎 基礎数学演習II	プログラミング実習I 専門ゼミ	プログラミング実習II 情報基礎実験	生体情報工学実験 システム情報処理実習I 生命情報工学演習I	システム情報処理実習II 生命情報工学演習II	卒業研究 生命情報工学応用演習	

人間環境デザイン工学科 カリキュラム体系図

DP1 関心・意欲・態度
 DP2 思考・判断
 DP3 技能・表現
 DP4 知識・理解
 DP：ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

必修
選択
選択(必ず履修)

		セメスター							
		1年		2年		3年		4年	
		1	2	3	4	5	6	7	8
共通教養科目	人間性・社会性科目群	人権と社会1 現代社会と法 現代社会と倫理 新しい政治学		持続可能な社会論 人権と社会2 暮らしのなかの憲法 現代経済の課題 芸術鑑賞入門 自己発見の心理学					
	国際性・地域性科目群	国際経済入門 日本近現代史 国際化と異文化コミュニケーション 里山の環境学		国際社会と日本 言語文化学入門 国際化と異文化コミュニケーション 里山の環境学					
	問題課題設定・解決科目群	基礎ゼミ 日本語の技法		キャリアデザイン データリテラシー入門 思考の技術 科学技術と人間・社会		社会奉仕実習		インターンシップ キャリアインターンシップ スクールインターンシップ	
	スポーツ・表現活動科目群	生涯スポーツ1 健康とスポーツの科学		生涯スポーツ2 食生活と健康					
外国語科目	第一外国語	総合英語1 オーラルスキル(英語)1 海外研修(英語)		総合英語2 オーラルスキル(英語)2		理系英語1 オーラルスキル(英語)3 言語演習(英語)1 TOEIC・A1 英語スキル上級A		理系英語2 オーラルスキル(英語)4 言語演習(英語)2 TOEIC・A2	
	第二外国語	ドイツ語総合1 中国語総合1		ドイツ語総合2 中国語総合2		ドイツ語総合3 中国語総合3		ドイツ語総合4 中国語総合4	
学部基礎科目	基礎	化学実験 物理学実験 バイオテクノロジー技術論 医療・科学・暮らし 科学倫理 生物と地球環境 情報処理基礎Ⅰ 地学概論Ⅰ 地学実験 代数学概論Ⅰ 幾何学ⅠA		Webデザイン 情報倫理 情報処理基礎Ⅱ 地学概論Ⅱ 代数学概論Ⅱ 幾何学ⅠB		基礎食品化学 幾何学ⅡA		知的財産権 幾何学ⅡB	
	応用	化学Ⅰ 生物学Ⅰ 数学 基礎数学 物理学Ⅰ		化学Ⅱ 生物学Ⅱ 線形代数学 微積分学 物理学Ⅱ		応用解析学Ⅰ 情報処理応用		応用解析学Ⅱ 確率統計 心理統計学 システムデザインと倫理 シミュレーション工学	
専門科目	人間科学	人間工学概論 生体機能・解剖学		生理学		カラーコーディネーションの心理学		環境計画学 感性デザインの数理 スポーツ科学 スポーツダイナミクス	
	機械科学	暮らしの力学		材料力学Ⅰ センサ工学		材料力学Ⅱ アンビエントセンサ		流れ学 生体計測学 生活支援ロボット	
	住環境科学	住環境科学概論 プロダクトデザイン 設計製図		熱・設備工学		温熱・空気環境学 建築法規		振動と音響の科学 建築施工	
	ユニバーサルデザイン	ユニバーサルデザイン概論		福祉情報デザイン 人間工学		建築と照明		福祉機器デザイン ユニバーサルデザイン	
	実験・実習・演習科目群			ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅰ 設計製図演習		ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅱ 人間環境デザイン工学実験Ⅰ 専門ゼミ		ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅲ 人間環境デザイン工学実験Ⅱ 人間環境デザイン工学演習Ⅰ	
						3次元CADプロダクトデザイン 人間環境デザイン工学演習Ⅱ		卒業研究 人間環境デザイン工学講究	

医用工学科 カリキュラム体系図

DP1 関心・意欲・態度	DP2 思考・判断	DP3 技能・表現	DP4 知識・理解
必修	選択	自由	

DP：ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

	セメスター							
	1年		2年		3年		4年	
	1	2	3	4	5	6	7	8
共通教養科目群	人権と社会1 現代社会と法 現代社会と倫理 新しい政治学 国際経済入門 日本近現代史 国際化と異文化コミュニケーション 里山の環境学 日本語の技法 生涯スポーツ1 健康とスポーツの科学 基礎ゼミ	人権と社会2 暮らしのなかの憲法 芸術鑑賞入門 現代経済の課題 持続可能な社会論 自己発見の心理学 国際社会と日本 国際化と異文化コミュニケーション 里山の環境学 言語文化学入門 思考の技術 キャリアデザイン 科学技術と人間・社会 生涯スポーツ2 データリテラシー入門 食生活と健康 教養特殊講義A 教養特殊講義B 教養特殊講義C	社会奉仕実習		インターンシップ キャリアインターンシップ スクールインターンシップ			
外国語科目群	総合英語1 オーラルスキル(英語)1 海外研修(英語)	総合英語2 オーラルスキル(英語)2	理系英語1 オーラルスキル(英語)3 言語演習(英語)1 TOEIC・A1 英語スキル上級A	理系英語2 オーラルスキル(英語)4 言語演習(英語)2 TOEIC・A2	理系英語3(エッセンシャル) 理系英語3(コリアンテーション) 理系英語3(プレゼンテーション) 発展理系英語1 TOEIC・B1	理系英語4(エッセンシャル) 理系英語4(コリアンテーション) 理系英語4(プレゼンテーション) 発展理系英語2 TOEIC・B2 英語スキル上級B		
学部基礎科目群	化学実験 物理学実験 バイオテクノロジー技術論 科学倫理 生物と地球環境 医療・科学・暮らし 情報処理基礎I 地学概論I 地学実験 代数学概論I 幾何学IA	Webデザイン 情報倫理 情報処理基礎II 地学概論II 代数学概論II 幾何学IB	基礎食品化学 幾何学IIA	幾何学IIB		知的財産権		
専門科目 (学科基礎科目)	化学I 基礎数学 数学 生物学I 物理学I	化学II 生物学II 物理学II 微分積分学 線形代数学						
専門科目 (工学科目)	医用工学概論	応用数学 コンピュータ工学 電気工学I	機械工学 計測工学 電気工学II 電気電子工学	電子工学I バイオセンサー 信号処理	制御工学 材料工学 電子工学II	放射線工学概論 バイオマテリアル 生体物性工学		
専門科目 (基礎医学科目)	基礎医学総論(法規・衛生) 生命倫理	解剖学	生理学	病理学 臨床生化学	臨床免疫学 臨床生理学 医療社会学	臨床薬理学 看護学概論		
専門科目 (医用工学科目)		医用機器学概論	臨床医学総論I	医用治療機器学 生体計測装置学 生体機能代行装置学I 臨床医学総論II	医用機器安全管理学I 生体機能代行装置学II 臨床医学総論III	医用機器安全管理学II 生体機能代行装置学III		
専門科目 (実験・実習・演習)		応用数学演習	電気電子工学実習 基礎医学実習	プログラミング演習 専門ゼミ	システム工学実習 医療治療機器学・生体計測装置学実習	生体機能代行装置学実習 医用機器安全管理学実習	臨床工学特別演習I 臨床工学特別演習II 臨床実習	
専門科目 (卒業研究)							卒業研究	

生物理工学部 学年別科目配当表

科 区	目 分	1 学 年				2 学 年				3 学 年				4 学 年								
		第1セメスター(前期)		第2セメスター(後期)		第3セメスター(前期)		第4セメスター(後期)		第5セメスター(前期)		第6セメスター(後期)		第7セメスター(前期)		第8セメスター(後期)						
		授業科目名	必修	選択	必修	選択	授業科目名	必修	選択	必修	選択	授業科目名	必修	選択	必修	選択	授業科目名	必修	選択	必修	選択	
共 通 教 養 科 目	人間性・社会性	人権と社会1	2		人権と社会2	2																
		現代社会と法	2		暮らしのなかの憲法	2																
		現代社会と倫理	2		芸術鑑賞入門	2																
		新しい政治学	2		現代経済の課題	2																
					持続可能な社会論	2																
	地域性・国際性	国際経済入門	2		国際社会と日本	2																
		日本近現代史	2		言語文化学入門	2																
		国際化と異文化コミュニケーション	2		国際化と異文化コミュニケーション	2																
		里山の環境学	2		里山の環境学	2																
		教養特殊講義A	2		教養特殊講義B	2																
課題設定・問題解決	基礎ゼミ2	2		思考の技術	2	社会奉仕実習	1			インターンシップ	2											
	日本語の技法	2		キャリアデザイン	2					キャリアインターンシップ	1											
				科学技術と人間・社会	2																	
	教養特殊講義C	2		教養特殊講義C	2																	
	データリテラシー入門	2		データリテラシー入門	2																	
スポーツ・表現活動	生涯スポーツ1	1		生涯スポーツ2	1																	
	健康とスポーツの科学	2		食生活と健康	2																	
外 国 語 科 目	基幹科目	総合英語1	2		総合英語2	2	理系英語1	1		理系英語2	1											
		オーラルスキル(英語)1	1		オーラルスキル(英語)2	1	オーラルスキル(英語)3	1		オーラルスキル(英語)4	1											
	応用科目A	海外研修(英語)	2				言語演習(英語)1	1		言語演習(英語)2	1											
							TOEIC・A1	1		TOEIC・A2	1											
	応用科目B																					
第二外国語	ドイツ語総合1	1		ドイツ語総合2	1	ドイツ語総合3	1		ドイツ語総合4	1												
	中国語総合1	1		中国語総合2	1	中国語総合3	1		中国語総合4	1												
学 部 基 礎 科 目	情報処理基礎I	1		情報処理基礎II	1	基礎食品化学	2		幾何学II B	2												
	化学実験	2		Webデザイン	1	幾何学II A	2															
	物理学実験	2		情報倫理	2																	
	バイオテクノロジー技術論	2		地学概論II	2																	
	科学倫理	2		代数学概論II	2																	
	生物と地球環境	2		幾何学I B	2																	
	医療・科学・暮らし	2																				
	地学概論I	2																				
	地学実験	1																				
	代数学概論I	2																				
幾何学I A	2																					
専 門 科 目	学科基礎	生命情報工学総論	2		微分積分学	2	応用数学I	2		応用数学II	2	制御基礎論	2	生体とシステム制御	2					知的財産権法概論	2	
		数学	2		線形代数学	2	情報基礎	2		生物統計	2			生体分子の統計物理	2							
		基礎数学	2		物理学II	2	確率基礎	2		電子回路	2											
		物理学I	2		化学II	2	電気回路II	2														
		化学I	2		生物学II	2																
		生物学I	2		情報ネットワーク	2																
	生命情報	コンピュータ概論	2		電気回路I	2																
							細胞生物学	2		分子生物学I	2	分子生物学II	2	バイオセンサー	2	バイオインフォマティクス	2					
							プログラミング	2		データ構造とアルゴリズム	2	バイオマテリアル	2	情報理論	2							
							数値計算	2				データベース論	2									
生体システム						脳・神経生理学	2		情報通信工学	2	生体信号解析	2	画像処理	2	脳と情報科学	2						
						デジタル回路	2		生体・電子計測学	2			システム工学	2								
先端専門									生命情報工学	2			機械学習	2								
									生命情報工学講究I	2			生命情報工学講究II	2								
目 実験・実習・演習	基礎数学演習I	1		基礎数学演習II	1	専門ゼミ	1		プログラミング実習II	1	生命情報工学演習I	1	生命情報工学演習II	2	生命情報工学応用演習	1						
				プログラミング基礎	1	プログラミング実習I	1		情報基礎実験	2	システム情報処理実習I	1	システム情報処理実習II	1	卒業研究	6						

※ 開講時期は変更される場合があります。
 ※ スクールインターンシップは教職課程受講者のみ履修可能です。

生物理工学部 学年別科目配当表

人間環境デザイン工学科

科 区	目 分	1 学 年				2 学 年				3 学 年				4 学 年									
		第1セメスター(前期)		第2セメスター(後期)		第3セメスター(前期)		第4セメスター(後期)		第5セメスター(前期)		第6セメスター(後期)		第7セメスター(前期)		第8セメスター(後期)							
		授業科目名	必修	選択	必修	選択	授業科目名	必修	選択	必修	選択	授業科目名	必修	選択	必修	選択	授業科目名	必修	選択	必修	選択		
共 通 教 養 科 目	人間性・社会性	人権と社会1		2	人権と社会2		2																
		現代社会と法		2	暮らしのなかの憲法		2																
		現代社会と倫理		2	芸術鑑賞入門		2																
		新しい政治学		2	現代経済の課題		2																
					持続可能な社会論		2																
	地域性・国際性				自己発見の心理学		2																
					教養特殊講義A		2																
					国際経済入門		2	国際社会と日本		2													
					日本近現代史		2	言語文化学入門		2													
					国際化と異文化コミュニケーション		2	国際化と異文化コミュニケーション		2													
課題設定・問題解決				里山の環境学		2	里山の環境学		2														
				教養特殊講義B		2																	
				基礎ゼミ2		2	思考の技術		2	社会奉仕実習		1				インターンシップ		2					
				日本語の技法		2	キャリアデザイン		2							キャリアインターンシップ		1					
				教養特殊講義C		2	科学技術と人間・社会		2							スクールインターンシップ		1					
スポーツ・表現活動				データリテラシー入門		2	データリテラシー入門		2														
				生涯スポーツ1		1	生涯スポーツ2		1														
外 国 語 科 目	基幹科目	総合英語1		2	総合英語2		2	理系英語1		1	理系英語2		1										
		オーラルスキル(英語)1		1	オーラルスキル(英語)2		1	オーラルスキル(英語)3		1	オーラルスキル(英語)4		1										
	応用科目A	海外研修(英語)		2				言語演習(英語)1		1	言語演習(英語)2		1										
								TOEIC・A1		1	TOEIC・A2		1										
	応用科目B							英語スキル上級A		1													
																理系英語3(エッセンシャル)		1	理系英語4(エッセンシャル)		1		
																理系英語3(コンプリヘンション)		1	理系英語4(コンプリヘンション)		1		
																理系英語3(プレゼンテーション)		1	理系英語4(プレゼンテーション)		1		
																発展理系英語1		1	発展理系英語2		1		
																TOEIC・B1		1	TOEIC・B2		1		
第二外国語																							
学 部 基 礎 科 目		ドイツ語総合1		1	ドイツ語総合2		1	ドイツ語総合3		1	ドイツ語総合4		1										
		中国語総合1		1	中国語総合2		1	中国語総合3		1	中国語総合4		1										
		情報処理基礎I		1	情報処理基礎II		1	基礎食品化学		2	幾何学II B		2										
		化学実験		2	Webデザイン		1	幾何学II A		2													
		物理学実験		2	情報倫理		2																
		バイオテクノロジー技術論		2	地学概論II		2																
		科学倫理		2	代数学概論II		2																
		生物と地球環境		2	幾何学I B		2																
		医療・科学・暮らし		2																			
		地学概論I		2																			
専 門 科 目	学 科 基 礎	化学I		2	化学II		2	応用解析学I		2	応用解析学II		2	確率統計		2	心理統計学		2				
		基礎数学		2	微分積分学		2										システムデザインと倫理		2				
		数学		2	線形代数学		2										シミュレーション工学		2				
		生物学I		2	生物学II		2																
	人間科学	物理学I		2	物理学II		2																
		人間医工学概論		2	生体機能・解剖学		2	生理学		2	カラーコーディネーションの心理学		2				環境計画学		2	スポーツダイナミクス		2	
	機械科学																						
	住環境科学																						
ユニバーサルデザイン																							
実験・実習・演習																							

※ 開講時期は変更される場合があります。
 ※ スクールインターンシップは教職課程受講者のみ履修可能です。

生物理工学部 学年別科目配当表

科 区	目 分	1 学 年				2 学 年				3 学 年				4 学 年									
		第1セメスター(前期)		第2セメスター(後期)		第3セメスター(前期)		第4セメスター(後期)		第5セメスター(前期)		第6セメスター(後期)		第7セメスター(前期)		第8セメスター(後期)							
		授業科目名	必修	選択	自由	授業科目名	必修	選択	自由	授業科目名	必修	選択	自由	授業科目名	必修	選択	自由	授業科目名	必修	選択	自由		
共 通 教 養 科 目	人間性・社会性	人権と社会1	2			人権と社会2	2																
		現代社会と法	2			暮らしのなかの憲法	2																
		現代社会と倫理	2			芸術鑑賞入門	2																
		新しい政治学	2			現代経済の課題	2																
						持続可能な社会論	2																
						自己発見の心理学	2																
	地域性・国際性	教 養 特 殊 講 義 A	2																				
		国際経済入門	2			国際社会と日本	2																
		日本近現代史	2			言語文化学入門	2																
		国際化と異文化コミュニケーション	2			国際化と異文化コミュニケーション	2																
		里山の環境学	2			里山の環境学	2																
		教 養 特 殊 講 義 B	2																				
課題設定・問題解決	基礎ゼミ2	2			思考の技術	2			社会奉仕実習	1			インターンシップ	2									
	日本語の技法	2			キャリアデザイン	2							キャリアインターンシップ	1									
	教 養 特 殊 講 義 C	2			科学技術と人間・社会	2							スクールインターンシップ	1									
	データリテラシー入門	2			データリテラシー入門	2																	
	生涯スポーツ1	1			生涯スポーツ2	1																	
	健康とスポーツの科学	2			食生活と健康	2																	
外 国 語 科 目	第一外国語	総合英語1	2		総合英語2	2			理系英語1	1			理系英語2	1									
		オーラルスキル(英語)1	1		オーラルスキル(英語)2	1			オーラルスキル(英語)3	1			オーラルスキル(英語)4	1									
		海外研修(英語)	2			言語演習(英語)1	1			言語演習(英語)2	1			TOEIC・A2	1								
	第二外国語	英語スキル上級A	1																				
														理系英語3(エッセンシャル)	1			理系英語4(エッセンシャル)	1				
														理系英語3(コンプリヘンション)	1			理系英語4(コンプリヘンション)	1				
														理系英語3(プレゼンテーション)	1			理系英語4(プレゼンテーション)	1				
														発展理系英語1	1			発展理系英語2	1				
														TOEIC・B1	1			TOEIC・B2	1				
	学 部 基 礎 科 目	第二外国語	ドイツ語総合1	1		ドイツ語総合2	1			ドイツ語総合3	1			ドイツ語総合4	1								
			中国語総合1	1		中国語総合2	1			中国語総合3	1			中国語総合4	1								
			情報処理基礎I	1		情報処理基礎II	1			基礎食品化学	2			幾何学II B	2				知的財産権	2			
化学実験			2		Webデザイン	1			幾何学II A	2													
物理学実験			2		情報倫理	2																	
バイオテクノロジー技術論			2		地学概論II	2																	
科学倫理			2		代数学概論II	2																	
生物と地球環境			2		幾何学I B	2																	
医療・科学・暮らし			2																				
地学概論I			2																				
地学実験			1																				
代数学概論I			2																				
幾何学I A	2																						
専 門 工 学 科 目	学科基礎	化学I	2		化学II	2																	
		基礎数学	2		微分積分学	2																	
		数学	2		線形代数学	2																	
		生物学I	2		生物学II	2																	
	工学	医用工学概論	2		応用数学	2			機械工学	2			電子工学I	2			制御工学	2			放射線工学概論	2	
					コンピュータ工学	2			計測工学	2			バイオセンサー	2			材料工学	2			バイオマテリアル	2	
					電気工学I	2			電気工学II	2			信号処理	2			電子工学II	2			生体物性工学	2	
									電気電子工学	2													
	基礎医学	基礎医学総論(法規・衛生)	2		解剖学	2			生理学	2			病理学	2			臨床免疫学	2			臨床薬理学	2	
		生命倫理	2										臨床生化学	2			臨床生理学	2			看護学概論	2	
																	医療社会学	2					
医用工学				医用機器学概論	2			臨床医学総論I	2			医用治療機器学	2			医用機器安全管理学I	2			医用機器安全管理学II	2		
												生体計測装置学	2			生体機能代行装置学II	4			生体機能代行装置学III	2		
												生体機能代行装置学I	4			臨床医学総論III	2						
												臨床医学総論II	2										
実験・実習・演習				応用数学演習	1			電気電子工学実習	2			プログラミング演習	1			システム工学実習	2			生体機能代行装置学実習	3		
								基礎医学実習	2			専門ゼミ	1			医療治療機器学・生体計測装置学実習	3			医用機器安全管理学実習	2		
																				卒業研究	4		
																				臨床実習	4		

※ 開講時期は変更される場合もあります。
 ※ スクールインターンシップは教職課程受講者のみ履修可能です。

②基礎教育授業科目

表1-1 基礎教育授業科目表

区分	分野	授業科目	単位数	必選別
総合科目	人間性・社会性科目群	哲学	2	○
		心理学	2	○
		日本国憲法	2	○
		人権論	2	○
		経済学	2	○
		政治基礎論	2	○
		教養特殊講義 A	2	○
	地域性・国際性科目群	ことばと文化	1	○
		日本語の技法	2	○
		人間と文化	2	○
		東広島学	2	○
		国際経営論	2	○
		グローバルキャリア論	2	○
		教養特殊講義 B	2	○
	課題設定・問題解決科目群	キャリアデザイン	2	○
		職業の理解	2	○
		生活と倫理	2	○
		社会行動論	2	○
		エンジニアリング・デザイン	2	○
		インターンシップ研修	2	○
		教養ゼミナール	2	○
		教養特殊講義 C	2	○
		情報と職業	2	○
		基礎ゼミ	2	◎
	データリテラシー入門	2	○	
	表現・スポーツ・健康活動科目群	芸術論	2	○
		工業デザイン	2	○
		生涯スポーツ I	1	○
		生涯スポーツ II	1	○
		スポーツ概論	2	○
		健康と安全	2	○
		メンタルヘルス	2	○
		余暇論	2	○
	専門基礎・自然科学科目群	工学倫理	2	◎
		地球の科学	2	○
		宇宙の科学	2	○
生命の科学		2	○	
情報処理基礎		1	◎	
図学		2	○	
物質の科学		2	○	
工学特講		2	○	
情報と社会		2	○	

2.1 教養・基礎教育部門総括表

○：必修科目 □：選択必修科目 △：選択科目

生物環境化学科、電気電子工学科、
建築・デザイン学科、情報学科、経営ビジネス学科

科目区分	科目群	授業科目の名称	単位数	開講年次	学期	必修・選択	備考
共通教養科目	人間性・社会性科目群	現代社会と法	2	1・2	後	<input type="checkbox"/>	人間性・社会性科目群から2単位以上修得すること
		暮らしのなかの憲法	2	2・3	前	<input type="checkbox"/>	
		現代社会と倫理	2	1～3	前,後	<input type="checkbox"/>	
		哲学と人間・社会	2	2・3	前	<input type="checkbox"/>	
		心理と行動	2	1・2	後	<input type="checkbox"/>	
		環境と社会	2	2・3	前	<input type="checkbox"/>	
		環境科学	2	1・2	後	<input type="checkbox"/>	
		企業倫理と知的財産	2	2・3	前	<input type="checkbox"/>	
		建学のこころ	1	1	後	<input type="checkbox"/>	
		教養特殊講義A	2	2	集中	<input type="checkbox"/>	
	地域性・国際性科目群	国際経済入門	2	1・2	後	<input type="checkbox"/>	地域性・国際性科目群から2単位以上修得すること
		国際社会と日本	2	1・2	後	<input type="checkbox"/>	
		国際化と異文化理解	2	1・2	後	<input type="checkbox"/>	
		日本史概論	2	1・2	前,後	<input type="checkbox"/>	
		日本文学論	2	2・3	前	<input type="checkbox"/>	
		地域社会と情報	2	1・2	後	<input type="checkbox"/>	
		地域社会と電気技術	2	1・2	後	<input type="checkbox"/>	
		教養特殊講義B	2	2	集中	<input type="checkbox"/>	
	課題設定・問題解決科目群	基礎ゼミ	2	1	前	○	
		科学的問題解決法	2	1	後	○	
		ライフデザイン	2	1	前	○	
		日本語の技法	1	1	後	○	
		論理的表現法Ⅰ	1	2	前	○	
		論理的表現法Ⅱ	2	2	後	<input type="checkbox"/>	
		キャリアデザイン	2	2	前	<input type="checkbox"/>	
		就職計画	2	3	前	<input type="checkbox"/>	
		インターンシップ	2	2・3	後	<input type="checkbox"/>	
		情報処理Ⅰ	2	1	前	○	
		情報処理Ⅱ	2	1	後	<input type="checkbox"/>	
		データリテラシー入門	2	1	後	<input type="checkbox"/>	
情報処理Ⅲ		2	2	前	<input type="checkbox"/>		
教養特殊講義C		2	2	後	<input type="checkbox"/>		
スポーツ・表現活動科目群	生涯スポーツ1	1	1～3	前	<input type="checkbox"/>	スポーツ・表現活動科目群から1単位以上修得すること	
	生涯スポーツ2	1	1～3	後	<input type="checkbox"/>		
	健康とスポーツの科学	2	1・2	集中	<input type="checkbox"/>		
	食生活と健康	2	1・2	後	<input type="checkbox"/>		
	視覚表現の科学	2	2・3	前	<input type="checkbox"/>		
	空間とデザイン	2	1～3	前,後	<input type="checkbox"/>		

※開講年次・学期は変更になることがあります。(各年度の時間割に掲載されている学年および学期に従います)

DP.3 専門知識、技能を修得し、幅広い視点からものごとを見つめ直し、社会の動きを的確、かつ体系的に捉えられること

DP.4 人間性豊かで国際感覚を会得した教養人であるとともに、グローバルな人材であること
なお、◎はDPの内容を主として修得できることを、○は副として修得できることを表しています。

4. 共通教養科目の構成と履修方法

開講期の「1」は第1セメスターを、「2」は第2セメスターを表します。

卒業要件	第1学年と第2学年を通して、下記25科目と他学部履修科目から、10単位以上単位取得すること
------	---

学科目名	単位	学年	開講期	DP.1	DP.2	DP.3	DP.4
哲学と人間・社会	2	1	1			◎	
現代社会と倫理	2	1	2			◎	
歴史学	2	1	1			◎	○
外国文化論	2	1	2			◎	○
人権と社会1 ⁽¹⁾	2	1	1			◎	
人権と社会2 ⁽¹⁾	2	1	2			◎	
現代社会と法	2	1	1	◎		○	
暮らしのなかの憲法	2	1	2			◎	
現代の社会論 ⁽¹⁾	2	1	1 or 2	○		◎	
環境科学	2	1	1			◎	
生命の科学	2	1	2			◎	
キャリアデザイン1 ⁽¹⁾	2	1	1	○	◎		
キャリアデザイン2	2	1	2	○	◎		
生涯スポーツ1 ⁽¹⁾⁽²⁾	1	1	1				◎
生涯スポーツ2 ⁽¹⁾⁽²⁾	1	1	2				◎
健康とスポーツの科学	2	1	2			◎	○
国語表現法	2	1	1	◎			
言葉とコミュニケーション	2	1	2	◎			
生涯学習概論 ⁽¹⁾	2	1	1		◎		
データリテラシー入門	2	1	2	◎	○		
基礎演習1 ⁽³⁾	2	1	1		◎		○
基礎演習2 ⁽³⁾	2	1	2		◎		○
教養特殊講義A ⁽⁴⁾	2	1	1	○		◎	
教養特殊講義B	2	1	1・2	○			○
教養特殊講義C	2	1	1・2	○			○

- (1) 合併授業ですので、履修登録上の授業名が異なっていることがあります。開講期や履修方法に注意してください。
 (2) 生涯スポーツ1・2は、第1回目の授業でクラス分けを行いますので、履修希望者は、必ず第1回目の授業に出席してください。また、シラバスの「近畿大学の健康スポーツ教育について」に従ってください。
 (3) 基礎演習1・2は必修科目ですので全員必ず履修し、単位取得してください。なお、基礎演習1・2はクラス指定制です。クラス分けは履修ガイダンスの際に指示しますので、指定されたクラスで受講してください。
 (4) 人数制限(30名以内)があります。

Ⅲ 法学部法律学科

1 法学部法律学科 開講科目

記号の見方

- ②：単位数が○で囲われている科目は必修科目
- ：通信授業の学習方法で単位修得を目指す科目
- ：スクーリングで単位修得を目指す科目
- ◎：スクーリング、メディア授業のいずれかで単位修得を目指す科目
- ☆：スクーリング、ブレンデッド授業のいずれかで単位修得を目指す科目
- ★：通学課程の受講期間でのオンデマンド授業を受講し単位修得を目指す科目
(前期：4月～8月、後期：9月～2月)

※ ブレンデッド授業とは、スクーリングとメディア授業の両方の受講により単位修得を目指す学習方法です。
1回の履修で2単位修得できます。

配当学年

現学年が配当学年より上級の学年の場合は履修できますが、配当学年より下級の学年の場合は履修できません。

総合科目 卒業に必要な単位数 合計 22 単位

(履修科目の中に「人間論」・「日本社会システム論」・「国際社会システム論」のいずれか1科目以上を含むこと。)

系	科目コード	科目名	単位数	配当学年	通信授業	面接授業
人間と自然	1105	人間論(心理学)	4	1	○	
	1402	生命現象論(生物学)	4		○	
	1404	自然環境論(地理学)	4		○	
異文化の理解	1101	文化交流論(歴史)	4		○	
	1104	日本文化論(文学)	4		○	
社会の認識	1301	日本社会システム論(法学)	4		○	
	1304	日本社会システム論(経済学)	4		○	
	1201	人権論(同和問題論)不開講(※3)	4		○	
	1302	国際社会システム論(社会学)	4		○	
	1303	国際社会システム論(政治学)	4		○	
科学の方法	1401	情報リテラシー論(数学)	4	○		
	1403	科学方法論(化学)	4	○		
	1406	データリテラシー入門(※1)	2		★	
健康とスポーツ	1601/1602	健康スポーツ科学(※2)	2	○	●	

※1 データリテラシー入門は入学後別途受講申請が必要になります。(受講料必要)

※2 健康スポーツ科学は、理論(1単位)と実技(1単位)の履修が必要です。

※3 人権論(同和問題論)は令和5年度より不開講となります。

外国語科目 卒業に必要な単位数 合計 8 単位 (面接授業科目 4 単位以上修得が必要)

系	科目コード	科目名	単位数	配当学年	通信授業	面接授業
第一外国語科目 (英語)	7701	英語読解	②	1	○	
	7702	英語総合(※1)	②			◎
	1501	英語特修(A)(※2)	2		○	
	7704	英語表現(※1)	2			◎
第二外国語科目 (初修外国語)	1509	ドイツ語基礎	2	2	○	
	1510	ドイツ語読解(※1)	2			◎
	1513	中国語基礎	2		○	
	1514	中国語読解(※1)	2			◎
	1530	韓国語基礎(※1)(※3)	2			☆
	1531	韓国語読解(※1)(※3)	2			☆

※1 外国語科目の面接授業科目は1単位開講であり、同一科目を2回(別講師)の受講により2単位修得する必要があります。
スクーリング1単位とメディア授業1単位の組み合わせにより2単位修得も可能です。

※2 「英語特修(A)」は要卒業単位数に含まれません。

※3 ブレンデッド授業の場合は2単位開講です。

(注) 通信授業科目で履修された科目以外の面接授業科目を履修することもできます(必修科目を除く)。

例) 通信授業科目「ドイツ語基礎(2単位)」・面接授業科目「中国語読解(2単位)」を履修

IV 短期大学部商経科

1 短期大学部商経科 開講科目

記号の見方

- ②：単位数が○で囲われている科目は必修科目
 ○：通信授業の学習方法で単位修得を目指す科目
 ●：スクーリングで単位修得を目指す科目
 ◎：スクーリング、メディア授業のいずれかで単位修得を目指す科目
 ☆：スクーリング、ブレンデッド授業のいずれかで単位修得を目指す科目
 ★：通学課程の受講期間でのオンデマンド授業を受講し単位修得を目指す科目
 (前期：4月～8月、後期：9月～2月)
 ■ 網かけの科目は単位修得することで、法学部法律学科3年編入学時に認定を受けることができる科目

※ ブレンデッド授業とは、スクーリングとメディア授業の両方の受講により単位修得を目指す学習方法です。
 1回の履修で2単位修得できます。

配当学年

現学年が配当学年より上級の学年の場合は履修できますが、配当学年より下級の学年の場合は履修できません。

総合科目 卒業に必要な単位数 合計 14 単位

系	科目コード	科目名	単位数	配当学年	通信授業	面接授業
人間と自然	1105	人間論(心理学)	4	1	○	
	1402	生命現象論(生物学)	4		○	
	1404	自然環境論(地理学)	4		○	
異文化の理解	1101	文化交流論(歴史)	4		○	
	1104	日本文化論(文学)	4		○	
社会の認識	1301	日本社会システム論(法学)	4		○	
	1304	日本社会システム論(経済学)	4		○	
	1201	人権論(同和問題論)不開講(※3)	4		○	
	1302	国際社会システム論(社会学)	4		○	
	1303	国際社会システム論(政治学)	4		○	
科学の方法	1401	情報リテラシー論(数学)	4		○	
	1403	科学方法論(化学)	4		○	
	1406	データリテラシー入門(※1)	2			★
健康とスポーツ	1601/1602	健康スポーツ科学(※2)	2		○	●

※1 データリテラシー入門は入学後別途受講申込が必要になります。(受講料必要)

※2 健康スポーツ科学は、理論(1単位)と実技(1単位)の履修が必要です。

※3 人権論(同和問題論)は令和5年度より不開講となります。

外国語科目 卒業に必要な単位数 合計 4 単位 (面接授業科目 2 単位以上修得が必要)

系	科目コード	科目名	単位数	配当学年	通信授業	面接授業
第一外国語科目 (英語)	7701	英語読解	2	1	○	
	7702	英語総合(※1)	2			◎
	1501	英語特修(A)(※2)	2	2	○	
	7704	英語表現(※1)(※2)	2			◎
第二外国語科目 (初修外国語)	1509	ドイツ語基礎	2	1	○	
	1510	ドイツ語読解(※1)	2			◎
	1513	中国語基礎	2		○	
	1514	中国語読解(※1)	2			◎
	1530	韓国語基礎(※1)(※3)	2			☆
	1531	韓国語読解(※1)(※3)	2			☆

※1 外国語科目の面接授業科目は1単位開講であり、同一科目を2回(別講師)の受講により2単位修得する必要があります。
 スクーリング1単位とメディア授業1単位の組み合わせにより2単位修得も可能です。

※2 「英語特修(A)」と「英語表現」は要卒業単位数に含まれません。

※3 ブレンデッド授業の場合は2単位開講です。

(注) 通信授業科目で履修された科目以外の面接授業科目を履修することもできます。

例) 通信授業科目「ドイツ語基礎(2単位)」・面接授業科目「中国語読解(2単位)」を履修

○近畿大学数理・データサイエンス・AI 教育プログラム委員会規程

(制定 令和5年3月1日)

(設置)

第1条 本学に、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(目的)

第2条 委員会は、文部科学省が定める「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度」に基づく認定プログラム（以下「プログラム」という。）を改善・進化させることを目的とする。

(構成)

第3条 委員会は、学長が指名する委員長及び委員をもって構成する。

2 委員長及び委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(審議事項)

第4条 部会は、次の事項を審議する。

- (1) プログラム（リテラシーレベル）の立案・実施に関する事項
- (2) プログラム（リテラシーレベル）の改善（授業内容・授業方法・シラバス記載の見直し、履修者数・履修率の向上、教員配置の見直し、教育効果の検証等）に関する事項

(事務)

第5条 委員会に関する事務は、大学運営本部大学院・共通教育学生センターが行う。

(雑則)

第6条 この規程に定めるほか、委員会に関する必要な事項は、委員会の議を経て定める。

附則

- 1 この規程は、令和5年3月1日から施行する。
- 2 第3条の規定にかかわらず、当面の間、近畿大学自己点検・評価専門部会（数理・データサイエンス・AI 教育プログラムリテラシーレベル）の構成員をもって委員とし、部会長をもって委員長とする。

○自己点検・評価委員会専門部会

(数理・データサイエンス・AI教育プログラムリテラシーレベル) 規程

(制定 令和5年3月1日)

(設置)

第1条 近畿大学自己点検・評価委員会規程（以下「委員会規程」という。）第6条に基づき、近畿大学自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）に自己点検・評価委員会専門部会（数理・データサイエンス・AI教育プログラムリテラシーレベル）（以下「部会」という。）を置く。

(目的)

第2条 部会は、文部科学省が定める「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」に基づく認定プログラム（以下「プログラム」という。）について、継続的に自己点検・評価を行うことを目的とする。

(構成員)

第3条 部会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

(1) 全学共通教育機構長

(2) その他委員会委員長が指名する者

2 部会長は、前項に定める構成員のなかから委員会委員長が指名する。部会長の任期は2年とし、再任を妨げない。

3 部会長が必要と認めたときは、部会に構成員以外の者を出席させ、説明又は意見を求めることができる。

(審議事項)

第4条 部会は、次の事項を審議する。

(1) プログラムに関する履修学生への調査に関する事項

(2) 前号の結果に基づく学生の理解度調査に関する事項

(3) 数理・データサイエンス・AI教育の全学的な普及・整備に関する事項

(4) プログラムに関する自己点検・評価の結果に係る公開・発信に関する事項

(事務)

第5条 部会に関する事務は、大学運営本部大学院・共通教育学生センターが行う。

(雑則)

第6条 この規程に定めるほか、部会に関する必要な事項は、部会の議を経て定める。

附則

この規程は、令和5年3月1日から施行する。

近畿大学DS・AIリテラシー教育プログラム

自己点検・評価委員会専門部会(数理・データサイエンス・AI教育プログラムリテラシーレベル)

目的

データ駆動型社会の素養であるDSとAIに関する基礎的な知識と技能を修得すること。

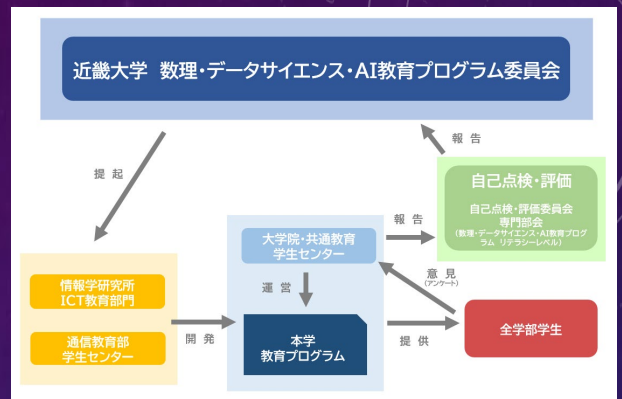
カリキュラム

対象: 全学部学生 科目数: 1科目
修了要件: 1科目単位取得

データリテラシー入門
共通教養科目・選択科目・2単位

第1回	データ駆動型社会
第2回	DS・AI活用社会
第3回	DS・AI利活用
第4回	様々なデータ表現
第5回	データの利活用と注意
第6回	社会におけるデータの取り扱い-個々人の注意-
第7回	社会におけるデータの取り扱い-社会全体の注意-
第8回	データを守る上での留意事項
第9回	AI・データ利活用の基礎知識 (テスト課題)
第10回	データを集める
第11回	データを扱う
第12回	データを見る
第13回	データを見る
第14回	データを読む
第15回	データを読み解く

体制



数理・データサイエンス・AI 教育拠点強化コンソーシアム モデルカリキュラム(リテラシーレベル)

1-1	社会で起きている変化	導入
1-2	社会で活用されているデータ	
1-3	データ・AIの活用領域	
1-4	データ・AI利活用のための技術	
1-5	データ・AI利活用の現場	
1-6	データ・AI利活用の最新動向	
2-1	データを読む	基礎
2-2	データを説明する	
2-3	データを扱う	
3-1	データ・AIを扱う上での留意事項	心得
3-2	データを守る上での留意事項	

特色

モデルカリキュラム(リテラシーレベル)のコア学習項目をカバーした講義内容

受講生が主体的に取り組むために講義内容を自身で深めるための時間を設置

各種アプリケーションを使って、講義内容をすぐにアウトプットする場を提供

グループディスカッションを学部垣根を越えて実施し理解内容を相互に共有できる場を設置

現状と計画

